

Soft Tennis

[ソフトテニス]

7

JULY
2025

No.854



第6回

全日本ミックスダブルス ソフトテニス選手権大会

(公財)日本ソフトテニス連盟

創立100周年を機に、新たな指針へ

2025チャイナカップソフトテニス大会

全日本アンダー14 男女合同合宿 報告

全日本アンダー21 女子強化合宿 報告

全日本アンダー17 女子強化合宿 報告

理事会・専門委員会&合宿報告
令和6年度 支部功労者・優良団体紹介

第54回 ゴーセン杯争奪
ハイスクールジャパンカップ2025



Soft **7** JULY 2025 No.854

[ソフトテニス]

Tennis

C O N T E N T S

【表紙写真】

6月中旬に広島県広島市他で開催された「第6回 全日本ミックスダブルスソフトテニス選手権大会」。写真は初優勝を飾った丸山海斗・天間麗奈ペアのプレー写真

(写真提供：ベースボール・マガジン社)

- 1 第6回 全日本ミックスダブルスソフトテニス選手権大会
- 11 2025チャイナカップソフトテニス大会
- 17 全日本アンダー14男女合同合宿 報告
- 22 全日本アンダー21女子強化合宿 報告
- 24 全日本アンダー17女子強化合宿 報告
- 27 第54回 ゴーセン杯争奪
ハイスクールジャパンカップ2025
- 32 (公財)日本ソフトテニス連盟創立100周年を機に、新たな指針へ
- 36 令和6年度 支部功労者・優良団体紹介
Vol.8 群馬県 Vol.9 新潟県 Vol.10 富山県
- 42 地区大会・地方大会
- 45 支部ニュース
- 46 理事会・専門委員会&合宿報告
- 47 次号予告
- 48 2025年度(令和7年度) 大会日程及び開催地一覧

第6回 全日本ミックスダブルス ソフトテニス選手権大会

■6月14日・15日

広島県・広島市 広島翔洋テニスコート、安芸郡 海田総合公園テニスコート、
福山市 福山市竹ヶ端運動公園テニスコート

広島県ソフトテニス連盟

丸山・天間ペアが内本・吉田ペアを下して初優勝！

6月中旬に広島で開かれた今大会。初日は雨に降られて午後1時に中止が決定。2日目は午前8時半からのスタート。選手にとってはハードなスケジュールとなりましたが、その中で丸山・天間ペアが強さを発揮して決勝に進出。その決勝では内本・吉田ペアを下して初優勝を飾りました。



会場の広島翔洋テニスコート

準決勝からのスコア

▽準決勝

丸山 海斗・天間 麗奈 ④-0	中尾 彦斗・坂本 朱羽
(大阪. One team・ 宮城. 東北高校)	(日本学連. 中央大学・ 広島. どんぐり北広島)
内本 隆文・吉田 滯奈 ④-2	上岡 俊介・久保 晴華
(広島. NTT西日本・ 東京. ヨネックス)	(京都. Up Rise・ 東京. ナガセケンコー)

▽決勝

丸山 海斗・天間 麗奈 ④-1 内本 隆文・吉田 滯奈



優勝 丸山 海斗・天間 麗奈
(大阪. One team・宮城. 東北高校)



準優勝 内本 隆文・吉田 滯奈
(広島. NTT西日本・東京. ヨネックス)



第3位 中尾 彦斗・坂本 朱羽
(日本学連. 中央大学・広島. どんぐり北広島)

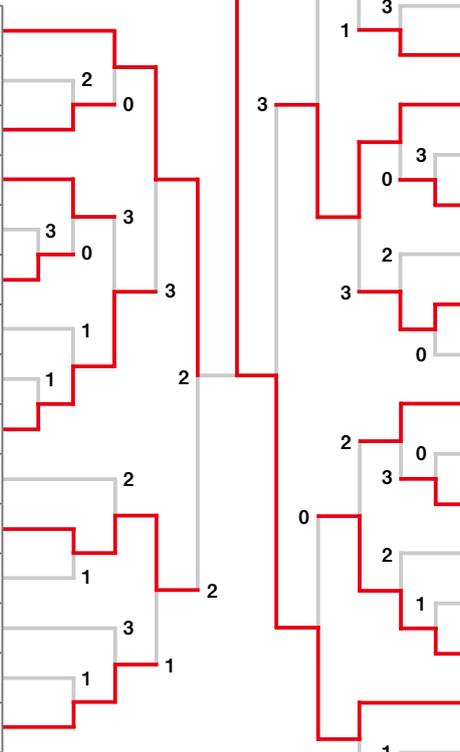


第3位 上岡 俊介・久保 晴華
(京都. Up Rise・東京. ナガセケンコー)

一般 (1)

丸山 海斗・天間 麗奈
大阪 .one team
宮城 .東北高校

1	前田 梨緒	日本学連	明治大
2	西松 優花	大阪府	大阪府
3	大矢 夏帆	埼玉	テニスクラブ
4	北野 亮介	京都	ワタキューセイモア
5	原水 佳奈	山口	岩国
6	稲田 翔太	愛知	中部電力
7	木原 那菜	三重	ナガセケンコウ
8	山口 大志	広島	広島中央
9	松本 翔太	日本学連	早稲田大
10	椎名 萌花	兵庫	東芝姫路
11	西山 なつみ	日本学連	明治大
12	大南 かな	埼玉	東松山
13	伊藤 幹奈	東京	ヨネックス
14	白川 千尋	京都	ワタキューセイモア
15	川崎 康平	日本学連	日本体育大

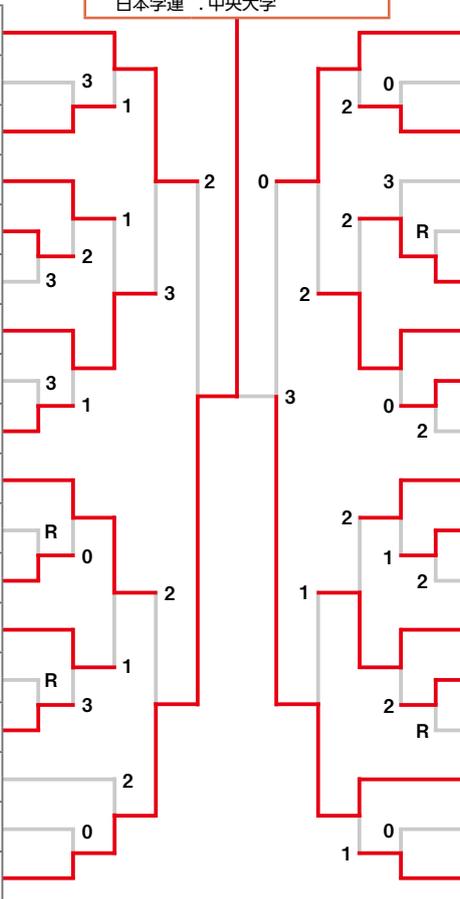


16	岩倉 彩佳	日本学連	島根	どんぐり	北広島
17	落合 未遥	埼玉	富士見	高校OB	
18	亀岡 亜希斗	愛媛	スマッシュ	セツヤスクラブ	
19	大友 紅美	東京	ヨネックス		
20	森本 輝凛	大阪	Tenitifo		
21	辻花 愛	日本学連	明治大		
22	福山 麗貴	京都	ワタキューセイモア		
23	佐藤 心美	日本学連	早稲田大		
24	星野 愛	千葉	ルーセント		
25	上野 小町	東京	ナガセケンコウ		
26	衛藤 有斗	大分	JX金属	製錬佐賀	
27	岡野 若奈	兵庫	東芝	姫路	
28	細田 美帆	日本学連	日本体育大		
29	高橋 彩耶	埼玉	上尾	IMUA	
30	金井 勇波	京都	ワタキューセイモア		
31	丸山 海斗	大阪	one team		
32	浅野 祐太	広島	フェニックス		
33	須原 拓美	愛知	松葉	クラブ	

一般 (2)

坂本 朱羽・中尾 彦斗
広島 .どんぐり北広島
日本学連 .中央大学

34	浪岡 菜々美	東京	ナガセケンコウ
35	村上 遥蓮	愛媛	松山
36	三角 彩瑠	新潟	ケイスポーツ
37	佐藤 日香	兵庫	東芝姫路
38	吉田 菜留	埼玉	上尾高校
39	近藤 好貴	福岡	久留米
40	竹橋 凌	日本学連	日本体育大
41	原華 菜子	広島	東洋
42	藤井 一貴	大阪	ルーセント
43	原口 美咲	京都	ワタキューセイモア
44	戸谷 風太	埼玉	松村
45	兼本 啓之	山口	光
46	仲川 晴智	愛知	東邦
47	中林 勇斗	広島	広島
48	岡田 侑也	日本学連	明治大
49	赤川 友里	東京	ヨネックス
50	西山 斗真	兵庫	加古川
51	坂本 朱羽	広島	どんぐり



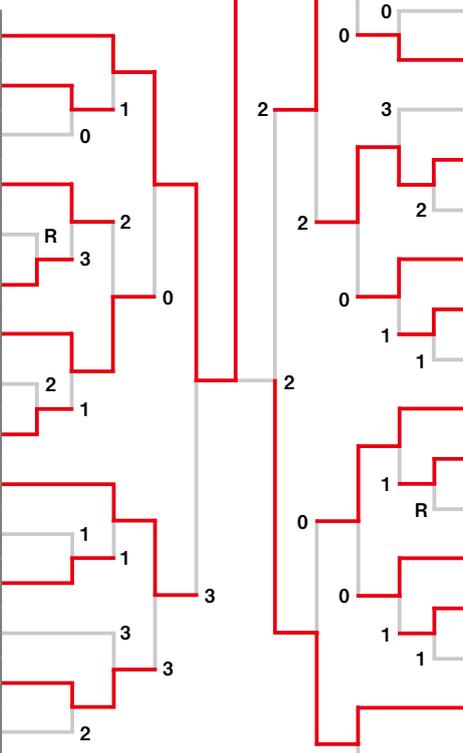
52	岩元 望美	日本学連	神戶	松蔭	大学
53	安藤 愛奈	広島	堀池	組	
54	吉松 琴葉	京都	ワタキューセイモア		
55	上野 美穂	埼玉	川口市	役所	
56	小田 菜夏	広島	Zerof		
57	五十嵐 美結	日本学連	日本体育大		
58	小高 林月	東京	ヨネックス		
59	吉田 美桜	兵庫	東芝	姫路	
60	岡本 崇杜	日本学連	熊本学	園大	
61	塚本 七海	広島	島翔	洋高	
62	猪古 里桃	熊本	菊池	市協	
63	酒井 光生	茨城	プロテ	リアル	
64	矢野 亜日	京都	ワタキューセイモア		
65	根岸 滯美	日本学連	日本体育大		
66	田口 真由	埼玉	川口	I.S.C	
67	矢野 颯人	広島	NTT	西日	
68	金子 菜々美	兵庫	龍野	クラブ	
69	高橋 明輝	埼玉	ふじみ	野O.T.A	

一般 (3)

内本 隆文・吉田 凛奈

広島 . NTT西日本
東京 . ヨネックス

70	内本 隆文	広島	NTT西日本
71	山口 陽菜	京都	ワタキューセイモア
72	釘本 百直	大阪	東大阪市協会
73	間田 友里那	日本学連	神戸松蔭大学
74	山田 菜々子	広島	フェニックス
75	箱崎 愁里	東京	ナガセケンコー
76	吉森 理彩	日本学連	日本体育大学
77	中村 悠峰	日本学連	明治大学
78	瀬口 翔太	愛知	松葉クラブ
79	阪上 亜優	京都	ワタキューセイモア
80	古城 理名	埼玉	上尾高校OB
81	鈴田 陽斗	日本学連	法政大学
82	後藤 理子	神奈川	JOHNNY'S
83	高木 来陸	兵庫	東芝姫路学
84	松田 蒼生	山口	東ソー南陽



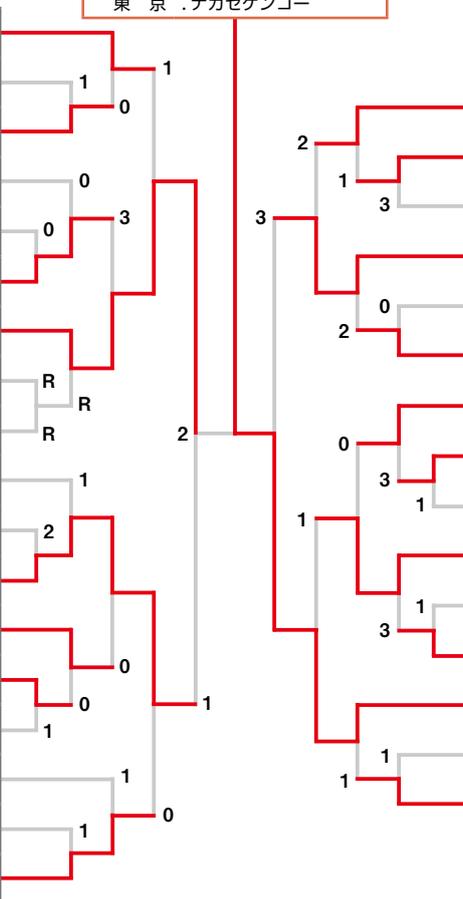
85	本倉 健太郎	広島	NTT西日本
86	蟻塚 悟司	愛媛	スマッシュセツヤスクラブ
87	森川 亮介	日本学連	法政大学
88	宮原 あかり	兵庫	東芝姫路
89	江口 咲礼	日本学連	関西大学
90	鈴木 愛香	新潟	ヨネックス新潟
91	片岡 瞬知	日本学連	日本体育大学
92	河村 颯希	日本学連	國學院大学
93	濱田 希星	大阪	どんぐり北広島
94	片野 理音	東京	ヨネックス
95	稲森 奈乃佳	鹿児島	アミューズ
96	辻浦 吉経	兵庫	川崎重工明石
97	大橋 玲雨	日本学連	明治大学
98	一ノ宮 大和	日本学連	早稲田大学
99	片岡 望真	広島	東洋観光
100	長谷川 憂華	京都	ワタキューセイモア
101	松原 光希	日本学連	JFE西日本福山
102	足立 賢治	日本学連	福山平成大学

一般 (4)

上岡 俊介・久保 晴華

京都 . Up Rise
東京 . ナガセケンコー

103	高橋 偲哉	広島	どんぐり北広島
104	草野 春真	福島	田村高校
105	武井 百香	千葉	昭葉昭葉
106	築田 亮	新潟	道後・八千代クラブ
107	上原 健斗	兵庫	加古川クラブ
108	丸山 章菜	三重	ヨシザワ
109	川崎 浩希	京都	ワタキューセイモア
110	岡永 優希	広島	広島中央クラブ
111	安良岡 琴葉	埼玉	S-mil e
112	根岸 楓英	兵庫	東芝姫路学
113	小見 樹	群馬	碓氷安中クラブ
114	山下 葉七	山口	岩国クラブ
115	浅見 竣一	日本学連	早稲田大学
116	秋川 是るか	広島	東洋観光
117	大根 桃亜	大阪	ルーセント大阪
118	天黒 美卓	日本学連	日本体育大学
119	加藤 朋空	栃木	L i t .
120	北野 敦貴	京都	ワタキューセイモア



121	米川 結翔	東京	ヨネックス
122	重松 瑞英	兵庫	東芝姫路
123	高田 淳貴	日本学連	早稲田大学
124	前川 愛理	広島	広島翔洋高校
125	川村 仁美	埼玉	上尾IMUA
126	岩元 愛美	日本学連	神戸松蔭大学
127	山口 夕奈	京都	ワタキューセイモア
128	西村 優那	日本学連	神戸親和大学
129	石黒 湧己	宮城	KEI SPORTS
130	坂口 生磨	日本学連	明治大学
131	上坂 村将	埼玉	皆野クラブ
132	石井 佑一	岡山	EN E O S
133	上岡 俊介	京都	Up Rise
134	岡崎 あゆみ	フリー	フリー
135	北川 勸	日本学連	広島経済大学

1	吉田里	山智	田智	福彦	岡賀	スポーツアイランド	3
2	森稲垣	佐輔	中裕	岡東	山玉	クレストクラブ	1
3	高齊	杉藤	真由	登弥	岡山	鬼の城クラブ	3
4	中田	中裕	宗裕	静宗	岡浜	松早起会	0
5	大多	本昌	田慶	希子	島福	山クラブ	R
6	増田	田裕	也美	群也	馬碓	氷安中クラブ	0
7	曾我	我尾	部卓	卓華	兵庫	兵庫フレンドリークラブ	0
8	我栗	妻原	万大	美輔	東京	並文化クラブ	3
9	玉青	野野	信也	南也	愛媛	新居浜市役所	1
10	村上	実佳	子隼	熊本	わいわいG	熊本	2
11	伊湯	佐久	美勝	東勝	京同	並文化志	組
12	森田	年沙	則織	広島	安部	クラブ	3
13	西村	村美	香和	愛媛	媛媛にぎたつ	クラブ	0
14	野藤	間田	智佑	福岡	男塾		
15	須田	田和	紀お	東兵	兵庫	みずほフィナンシャルグループ	0
16	広山	本孝	範愛	兵庫	加古川	クラブ	1
17	佐々	木香	舞圭	北海道	SAKURA STS		
18	丸井	林香	菜力	東京	Leandra		2
19	伊藤	啓藤	司美	和歌山	維吹		3
20	金麻	子生	裕ま	亮ゆ	東愛	京知	ミドウクラブ
21	前伊	田藤	綾子	一樹	岡山	井原テニスクラブ	1
22	倉上	持羽	宏千	樹紀	茨城	河野クラブ	1
23	古山	賀本	崇香	史織	和歌山	MONOLITH	
24	小林	竹谷	充達	紀也	福岡	祇園	1
25	神宮	鈴大	城戸	里宏	埼玉	上尾高校OB	3
26	大塚	串塚	一沙	樹織	兵庫	加古川クラブ	1
27	男中	座原	礼寛	香海	広島	藤の木クラブ	1
28	立三	田好	康朋	明美	愛媛	媛媛にぎたつ	クラブ
29	安小	部森	眞太	子郎	東京	杉並文化クラブ	2
30	諸岡	谷野	敬智	子博	岡山	井原テニスクラブ	1
31	山道	矢野	さや	俊介	熊本	FRFE	2
32	田村	村水	啓万	輔穂	茨城	MILD	3
33	越山	田田	浩仁	藍好	和歌山	愛好会	1
34	宮原	沙井	弥佳	佳歩	東京	千石クラブ	
35	川藤	向川	美良	紀平	岡山	山井原テニスクラブ	3
36	岡崎	野奈	緒智	美也	香川	多度津クラブ	R2
37	松川	川の	佳裕	み裕	兵庫	伊丹クラブ	2
38	八代	田知	育美	大福	福岡	サンデークラブ	2
39	小柳	田裕	朋二	惠大	東京	世田谷テニス	2
40	荒田	木中	健悠	育希	長崎	崎島インターナショナルテニスクラブ	0
41	近谷	藤田	佳明	奈照	岡山	山総社クラブ	2
42	緒山	方下	貴幸	浩乃	東京	稲門クラブ	1
43	花三	田浦	直洋	弥美	京都	都都市役所	
44	成友	松国	芳千	樹鶴	広島	広島中央クラブ	1
45	高井	橋上	幸佳	嗣奈	愛媛	媛媛にぎたつ	0
46					媛媛にぎたつ	クラブ	1

曾我部 卓司・牛尾 有華
兵庫 兵庫フレンドリークラブ
龍野クラブ

優勝



曾我部 卓司・牛尾 有華
(兵庫 兵庫フレンドリークラブ・龍野クラブ)

準優勝



古賀 崇史・山本 香織
(和歌山 MONOLITH・北海道 SAKURA STS)

第3位



藤田 佑樹・野間 智美
(福岡 男塾)

第3位



緒方 貴浩・山下 幸乃
(東京 稲門クラブ・愛知 豊田 Team YUKARI)

第6回 全日本ミックスダブルスソフトテニス選手権大会

45歳

1	福奥 田村	江里	子矢	福	岡	久綾	留小	米路	クラ	プ
2	大田	釜島	陸芳	大	阪	藤堀	井馬	寺フ	連フ	盟
3	山根	藤野	里恵	信里	京知	練ヨ	ネッ	クス	名古	屋
4	加藤	野本	恵鉄	大	阪	ヨネ	ネッ	クス	名古	屋
5	寺土	本居	佳聖	展子	大	賞面	サン	グリー	ンス	ス
6	三浦	浦浦	充義	加晴	北	ウイ	ズ	ロ	ー	ズ
7	杉佐	澤木	川直	康子	大	旭	ク	ラ	ブ	
8	高上	野岡	優尚	子慎	大	堀	マ	ツ	ダ	
9	上吉	長野	一	淳美	新	湯	謙	桜	ク	ラ
10	大川	野原	美	敦雪	千	葉	市	川	ク	ラ
11	古加	藤川	美	臣子	小	金	原	ク	ラ	ブ
12	松田	亜希	奈剛	央平	岡	山	ク	ラ	レ	岡
13	足利	中加	代	鳥神	取	レ	ディ	ース	鳥	取
14	田中	林美	宗雪	長野	岡	木	谷	市	協	会
15	小藤	島真	澄亮	奈良	な	か	よ	し	パ	ン
16	本山	雄里	介子	大	阪	平	野	連	盟	
17	富田	橋本	誠文	吉子	大	島	西	南	ク	ラ
18	高鈴	藤木	木か	み子	茨	城	結	城	ク	ラ
19	加藤	山本	綾博	子義	愛	知	佐	屋	ク	ラ
20	橋山	宮野	早	剛苗	山	口	岩	国	れ	ん
21	小河	越山	以慎	二美	東	京	小	平	ク	ラ
22	名越	山宅	一修	一見	佐	賀	小	城	協	会
23	石桐	宮本	三弘	樹子	和	歌	山	維	吹	
24	谷久	保本	敬旭	子仁	島	五	日	市	ク	ラ
25	森柴	小嶋	林田	丈佳	長	野	上	丸	ク	ラ
26	小嶋	福吉	原國	裕公	山	口	徳	山	ク	ラ
27	松川	内由	美和	子也	大	阪	八	尾	市	協
28	堀山	中木	和晶	佳子	東	京	小	若	平	ク
29	山片	服部	田道	仁大	岡	山	鬼	の	城	ク
30	前中	力島	武雅	寿史	佐	賀	賀	賀	賀	賀
31	福大	横井	惠美	理芳	滋	賀	賀	賀	賀	賀
32	奥永	本井	裕美	修剛	愛	知	豊	田	Team	YUKARI
33	都鳥	西崎	美和	子剛	大	阪	和	泉	B	M
34	松田	小井	真理	子讓	大	阪	和	泉	B	M
35	小井	太田	亮理	子枝	愛	知	立	連	盟	
36	堀口	口口	夏恵	子悟	東	京	練	馬	ソ	フ
37	安五	市野	正千	哲光	取	分	レ	ディ	ース	鳥
38	武岡	内留	西美	浩由	大	阪	大	阪	山	ク
39	山戸	永瀨	岩永	江公	福	岡	福	サ	ン	ダ
40	櫻井	森上	慶真	由	石	川	ほ	く	ク	ラ
41	石堂	高澤	岩永	江公	宮	神	城	川	KEI	S
42	橋内	永江	公美	子	奈	川	せ	ら	ぎ	ク
43	江	公	美	子	島	堀	日	井	ク	ラ
44							N	T	T	西
45							日	本	中	国
46							池			組

谷 弘樹・久保 陽子
和歌山 . 維吹



谷 弘樹・久保 陽子
(和歌山 . 維吹)



吉長 慎・上岡 尚子
(広島 . マツダ・堀池組)



岩永 淳・土江 公美子
(広島 . NTT 西日本中国・堀池組)



小山 慎二・三宅 一美
(東京 . 小平クラブ・葛飾クラブ)

50 歳

北野 敏明・小谷 麻紀
大阪 堺連盟
箕面サングリーン

1	北野 敏明 小谷 麻紀	大阪	堺連盟 箕面サングリーン		
5	佐藤 知宏 吉岡 愛子	広島	ごうたま 堀池組	2	
7	眞鍋 一志 吉田 美和	愛媛	フジカンパニーズ 今治連盟	R	
13	伊藤 雅樹 伊藤 朋子	愛知	東邦ガス すみれクラブ	3	
14	中村 知敬 中村 智子	岡山	E N E O S	0	
17	清水 賢二 矢崎 美穂	千葉県	松戸市役所 杉並文化クラブ	2	
20	福岡 篤彦 安藤 寿香	和歌山	伊都協会 生駒市協会		
23	江川 英孝 梅田 貴子	三重	高城クラブ 五十鈴クラブ	1	
26	岸本 望 平井 勝己	静岡県	球聖クラブ デンソー		3
30	稲岡 洋 三宅 恵	兵庫	加古川クラブ	1	
32	木下 春義 中牟田 千恵	大分	中津工業OBクラブ 福岡福大クラブ		1
37	辻本 誠 塩崎 泰子	和歌山	黒潮クラブ	1	
40	長濱 悟史 伊藤 彰子	神奈川県	横浜市役所 杉並文化クラブ	1	
41	浦川 真紀 木津 大幸	熊本	宇士クラブ S B カワスミ		
44	八木澤 望 八木澤 香里	茨城	日立はくあ	3	
50	中村 早智 河口 琢哉	大阪	大阪OB軟庭会 練馬ソフト		2
51	浜辺 真弓 倉本 和広	大阪	東大阪市協会 滋賀21クラブ		
54	星 学 飯塚 清美	埼玉	蕨テニスクラブ 浦和テニス	2	
59	田中 隆博 石川 朋恵	兵庫	芦屋クラブ	2	
61	河本 厚彦 井上 美佳	岡山	J F E スチール西日本 ソフト浦安		2
63	柏木 恵太 成田 扶美代	大阪	team レジェンド		

優勝



北野 敏明・小谷 麻紀
(大阪 堺連盟・箕面サングリーン)

準優勝



木津 大幸・浦川 真紀
(大分 SBカワスミ・熊本 宇士クラブ)

第3位



福岡 篤彦・安藤 寿香
(和歌山 伊都協会・奈良 生駒市協会)

第3位



柏木 恵太・成田 扶美代
(大阪 Teamレジェンド)

55歳

今村 義美・寺田 祥子
香川 . なかよしクラブ
三重 . 五十鈴クラブ

1	濱田 英明	東 京	練馬ソフト 杉並文化クラブ	
4	松山 明彦	長 崎	音無クラブ 吉野クラブ	3
9	藤本 聡子	岐 阜	太平洋工業 会	0
10	上原 美弘	長 野	松本市協会	0
13	須原 常忠	愛 知	名古屋アカエム 豊田クラブ	3
18	鶴岡 弘紀	東 京	赤門クラブ BLUE TAKAX	1
19	今村 義美	香 川	なかよしクラブ	
19	寺田 祥子	三 重	五十鈴クラブ	
22	山本 一也	広 島	広島クラブ どりーむクラブ	1
22	山本 敏美	広 島	どりーむクラブ	2
25	嶋田 尚登	和 歌	きのくに信用金 庫	
25	渡邊 由佳子	大 阪	R I S E	
28	尾崎 純二	大 阪	八尾市ソフトテ ニス協会	1
28	島田 寿恵美	大 崎	所沢ペアート テニスクラブ	
31	櫻井 佳子	愛 知	豊田クラブ	
31	藤井 忠彦	愛 知	知立連盟	1
34	原 美香	神 奈	横 浜 P S C	
34	梅田 真利	神 奈	良 信 貴 俱 楽 部	3
39	東橋 純子	兵 庫	今 津 ク ラ ブ	
39	橋本 康徳	京 都	京 都 市 役 所	3
41	道具 幸子	東 京	世 田 谷	
41	神野 茂	愛 媛	愛 媛 風 会	1
43	山田 尚人	茨 城	勝 田 ク ラ ブ	1
43	山田 里美	茨 城	勝 田 ク ラ ブ	
46	榎本 武男	愛 知	刈 谷 ク ラ ブ	3
46	佐々木 あゆみ	愛 知	岡 崎 パ ー ド	
49	石井 靖浩	岡 山	E N E O S	1
49	渡邊 扶佐子	東 京	B L U E T A K A X	
52	河盛 由香	広 島	廿 日 市 ク ラ ブ	0
52	海 口 真	広 島	広 島 中 央 ク ラ ブ	
55	大 峽 和	長 野	飯 田 協 会	1
55	芦部 美奈子	長 野	飯 田 協 会	2
59	稲 盛 裕	兵 庫	尼 崎 市 立 尼 崎 高 校 O B ク ラ ブ	
59	山 戸 結	広 島	安 部 ク ラ ブ	
63	清 水 孝	神 奈	東 陵 ク ラ ブ	3
63	宮 下 道代	神 奈	あ じ さ い ク ラ ブ	
64	佐 藤 喜	群 馬	新 町 ク ラ ブ	2
64	佐 藤 清	群 馬	新 町 ク ラ ブ	
67	加 藤 敏	愛 知	デ ン ソ ー	3
67	松 嶋 晴	愛 知	豊 田 ク ラ ブ	
70	山 田 和	福 岡	福 大 ク ラ ブ	0
70	櫻 木 直	福 岡	綾 小 路 ク ラ ブ	
73	菅 原 啓	広 島	広 島 中 央 ク ラ ブ	1
73	藤 井 嘉	広 島	広 島 中 央 ク ラ ブ	
78	早 津 小	千 葉	習 志 野 ク ラ ブ	0
78	遠 藤 由	東 京	江 戸 川 ク ラ ブ	
79	片 桐 浩	長 野	佐 久 連 盟	0
79	依 田 教	長 野	長 野 市 協 会	
84	前 田 真	広 島	福 山 どんがめ クラブ	3
84	正 岡 徹	広 島	広 島 ク ラ ブ	
85	宮 尾 真	埼 玉	所 沢 ペ ア ー ト テ ニ ス ク ラ ブ	
85	堀 越 晴	東 京	板 橋 俱 楽 部	



優勝
今村 義美・寺田 祥子
(香川 . なかよしクラブ・三重 . 五十鈴クラブ)



準優勝
堀越 晴夫・宮尾 真由美
(東京 . 板橋倶楽部・埼玉 . 所沢ペアートテニスクラブ)



第3位
藤井 忠彦・櫻井 佳子
(愛知 . 知立連盟・豊田クラブ)



第3位
稲盛 裕・山戸 結子
(兵庫 . 尼崎市立尼崎高校OBクラブ・広島 . 安部クラブ)

60 歳

千野 一也・鈴木 節子

東京・たちばなクラブ
日亜化学

1	千野 一也	東京	たちばなクラブ			
	鈴木 節子	東京	日亜化学			
6	杉岡 薫里	岡山	ソフト浦安		0	
	坂口 美実	岡山	ソフト浦安			
8	河野 芳樹	広島	藤の木クラブ		3	
	武田 由美	広島	呉クリニック			
11	田崎 利文	大阪	高槻クラブ		0	
	米盛 浩子	大阪	呉ぜんりん会			
13	和田 博明	兵庫	神戸山手クラブ		2	
	秋葉 明泉	兵庫	レディース鳥取			
17	近藤 幸春	愛知	西尾協会		1	
	平形 明美	愛知	西尾協会			
19	塩島 千波	千葉	ときわ平クラブ		1	
	萱野 一	千葉	きさらづKSクラブ			
22	高木 ひとみ	愛知	豊田クラブ		3	
	加藤 信弘	愛知	葵クラブ			
27	遠藤 正治	北海道	青陽クラブ		0	
	吉野 さおり	北海道	札幌MAクラブ			
28	片山 真弘	岡山	総社クラブ		0	
	宮島 久美子	岡山	井原テニスクラブ			
31	片山 公三	愛知	西尾協会		0	
	井上 春美	愛知	井上テニスクラブ			
36	池田 忠史	岐阜	TEAM KUMA		0	
	原田 久美子	岐阜	TEAM KUMA			
37	萩原 由美	東京	杉並文化クラブ		3	
	大野 勝敏	東京	浦和ファミリーテニスクラブ			
40	鈴木 明美	埼玉	川口クラブ		3	
	松本 宣博	埼玉	宇土クラブ			
44	秋庭 朋子	岡山	しらかべクラブ		1	
	橋本 昌明	岡山	総社クラブ			
46	加藤 健治	愛知	葵クラブ		0	
	中根 治美	愛知	岡崎ロングロングクラブ			
51	小河 悟	福岡	福岡クラブ		0	
	舛田 和子	福岡	那珂川クラブ			
53	陰山 吉春	広島	藤の木クラブ		0	
	播磨 瑞枝	広島	廿日市クラブ			
56	石川 美喜	愛知	碧南市協会		3	
	安藤 光基	愛知	西尾協会			
58	堀出 正明	愛知	ウイングクラブ		0	
	野口 眞美子	愛知	豊田クラブ			
63	中野 浩二	岡山	ソフト平井		0	
	難波 美樹	岡山	ソフト浦安			
65	寺田 雅彦	滋賀	守山S.T.C		3	
	寺田 弘子	滋賀	大津なでしこ			
68	坂本 和子	福岡	北九州クラブ		2	
	増田 長幸	福岡	広島クラブ			
71	高岡 幸子	愛媛	愛媛県レディース協会		1	
	高市 力	愛媛	松前クラブ			
74	小林 和義	埼玉	桶川S.T.C		3	
	中山 広子	埼玉	さいたまドリームクラブ			

優勝



千野 一也・鈴木 節子
(東京・たちばなクラブ・日亜化学)

準優勝



加藤 健治・中根 治美
(愛知・葵クラブ・岡崎ロングロングクラブ)

第3位



遠藤 正治・吉野 さおり
(北海道・青陽クラブ・札幌MAクラブ)

第3位



中野 浩二・難波 美樹
(岡山・ソフト平井・ソフト浦安)

65 歳

岩月 良弥・岩月 美雪
愛知・岡崎壮年クラブ

1	山本 幸輝 神野 弓子	奈良 良 愛知 すみれクラブ	シャープクラブ	
4	福田 次美 井下 健	愛媛 媛 広島 楽くらぶ	愛媛県レディース協会 楽くらぶ	1
8	織田 宏 堂面 真由美	広島 島 広島 二葉クラブ	広島クラブ 二葉クラブ	0
10	金子 由美 市川 克己	神奈川 横 東 練馬ソフト	横浜マイル 練馬ソフト	2
14	坂見 美和子 津吉 信也	愛媛 媛 今治 連盟	愛媛アカエムクラブ 今治連盟	2
16	岩月 良弥 岩月 美雪	愛知 岡崎壮年クラブ	岡崎壮年クラブ	2
22	蛭田 千代之 下妻 利之	茨城 水戸千波テニス 白球会	水戸千波テニス 白球会	1
23	加藤 伊都子 小森 稔信	和歌山 青 大阪 堺連盟	青葉クラブ 堺連盟	0
26	阿部 藤彦 春日 君江	神奈川 三 東 京チームNARO	三菱重工相模原 チームNARO	3
29	武士 典央 菅井 洋子	東京 江 千葉 明日香	江戸川クラブ 明日香	3
33	鎌田 真澄 山中 順子	大阪 ラ 大阪 ラリークラブ	ラリークラブ	3
35	芝田 眞次 藤野 仁美	愛媛 媛 今治 連盟	愛媛にぎたつクラブ 今治連盟	0
38	相澤 真里子 中井 克彦	鳥取 東 鳥取 ハワイクラブ	東伯クラブ ハワイクラブ	0
43	三村 正治 高瀬 千津子	広島 藤 広島 の木クラブ	藤の木クラブ どりーむクラブ	0
45	小林 孝志 小林 きみ子	埼玉 秩 秩父 C O C 会	秩父 C O C 会	3
48	天野 誠 中畑 淳子	愛知 岡崎壮年 福岡 北九州	岡崎壮年クラブ 北九州クラブ	1
52	宮脇 龍司 宮脇 真智子	広島 呉 呉 クリクラブ	呉百才会 呉クリクラブ	2
54	吉本 安男 津田 妙子	北海道 北 迷球会	北見連盟 迷球会	1
57	松本 厚子 片山 栄二郎	岡山 高 粒江 協	高梁協会 粒江クラブ	2

優勝



岩月 良弥・岩月 美雪
(愛知・岡崎壮年クラブ)

準優勝



中井 克彦・相澤 真里子
(鳥取・ハワイクラブ・東伯クラブ)

第3位



山本 幸輝・神野 弓子
(奈良・シャープクラブ・愛知・すみれクラブ)

第3位



天野 誠・中畑 淳子
(愛知・岡崎壮年クラブ・福岡・北九州クラブ)

70歳

増田 加奈・高原 一郎
愛知・岡崎バード
大阪・八尾市協会

1	増田 加奈 高原 一郎	愛知 大阪	岡崎バード 八尾市協会	
5	杉山 泰久 岸 知恵	埼玉 栃木	所沢アートテニスクラブ サンスポーツクラブ	3
9	梶岡 憲治 大村 久子	広島 呉	広島文化クラブ 呉クリニック	3
11	新開 均 伴戸 明己	徳島 北海道	永遠クラブ 札幌白石クラブ	
14	森中 祐作 森中 登美子	三重	上野クラブ	0
18	中村 忍子 木村 祐子	愛知	ラブテニスクラブ 稲沢倶楽部	0
20	上野 敏美 山本 明	福岡	福岡クラブ	3
23	伊藤 節子 鍋岡 茂	愛知	葵クラブ 岡崎壮年クラブ	1
28	高橋 道子 白石 宅男	埼玉 熊本	所沢アートテニスクラブ 帯山クラブ	3
29	宮崎 久子 佐藤 敏和	栃木 東京	富士見が丘クラブ 八王子市役所	2
34	原 三代 高橋 一夫	岐阜 広島	かがやき 三菱電機福山	1
36	加藤 栄子 加藤 丈司	広島	アクロス広島 広島文化クラブ	1
40	長澤 輝雄 宮越 由美子	埼玉	浦和あづまクラブ 川口クラブ	0
44	本田 みな子 渡部 良	島根	津田クラブ 蒼翠会	1
45	大嶋 良弥子 細野 敦子	岐阜 岐阜	多治見クラブ 大垣早起会	1

優勝



高原 一郎・増田 加奈
(大阪・八尾市協会・愛知・岡崎バード)

準優勝



高橋 一夫・原 三代
(広島・三菱電機福山・岐阜・かがやき)

第3位



新開 均・伴戸 明己
(徳島・永遠クラブ・北海道・札幌白石クラブ)

第3位



渡部 良・本田 みな子
(島根・蒼翠会・津田クラブ)

飛びも新次元へ



far beyond ordinary



GEOBREAK
OFFICIAL WEB SITE



2nd GENERATION

GEOBREAK

504S / 505S / 50V

ジオブレイク50バーサス・50S・50V / ¥23,100(税込) / 2024年2月中旬発売予定 / 日本製

COUNTERBALANCEUNIT

GYROBURST
SYSTEM 2.0

-SERVO FILTER-

www.yonex.co.jp

f YONEX JAPAN

X yy_softtennis

ig yonex_jp



FALS

変わりゆく時代に

変われる強さを。

株式会社 **IFEES**



ホームページ

2025

チャイナカップソフトテニス大会

■5月20日～27日 中国・台州市 TaizhouSportsCenter



会場のコートでガッツポーズをとる日本選手たち

日本代表が全7種別で優勝飾る！

5月下旬に中国で開催された今大会。日本代表は男女国別対抗戦、男女ダブルス、男女シングルス、ミックスマックスの全7種別で優勝を飾りました。特に男子シングルスとミックスマックスはベスト4を日本選手が独占しました。

女子団体

国別対抗戦は、中国A・B、韓国、上海体育大学、日本の5チームのリーグ戦。

韓国戦は韓国チームが4人で参加のため、第2ダブルスは不戦勝となった。世界選手権優勝のジョンウン選手は的確なポジショニングやボレーの精度が非常に高いと感じた。シングルスは昨年の世界ジュニア決勝の再戦となる（この時は天間が④-1で勝利）。0-3までリードされたが、そこからサービス・レシーブのコースを変えて、徐々に相手を崩してペースを取り戻し、ファイナルで勝利。

中国戦の第1ダブルスは、先にコースを変えられる展開になり、0-3とリードを許したが、相手の特徴

日本選手団

スタッフ	堀 晃大、三浦 洋美、市山 裕梨			
選手	女子	根岸 楓英奈、左近 知美、天間 美嘉、佐藤 日香莉、天間 麗奈		
	男子	橋場 柁一郎、菊山 太陽、片岡 暁紀、黒坂 卓矢、矢野 颯人		

をつかみ、先に勝負することでポイントし、⑤-3で勝利した。シングルスは国際大会経験者で、レシーブもコントロールして返球してくるので序盤苦む場面もあったが、狙いどころを定めて対応し、前後の揺さぶりからノーバウンドでポイントを奪い④-0で勝利。

結果

国別対抗戦	
男女とも優勝（4勝0敗）	
女子ダブルス	
優勝	天間 美嘉・左近 知美
3位	佐藤 日香莉・根岸 楓英奈
男子ダブルス	
優勝	片岡 暁紀・菊山 太陽
ベスト8	矢野 颯人・黒坂 卓矢
女子シングルス	
優勝	天間 麗奈
3位	佐藤 日香莉
男子シングルス	
優勝	橋場 柊一郎
2位	黒坂 卓矢
3位	矢野 颯人、菊山 太陽
ベスト8	片岡 暁紀
ミックスダブルス	
優勝	天間 美嘉・菊山 太陽
2位	天間 麗奈・黒坂 卓矢
3位	橋場 柊一郎・佐藤 日香莉 矢野 颯人・左近 知美
※予選リーグ敗退	片岡 暁紀・根岸 楓英奈（2勝1敗）

男子団体

初戦の韓国戦がヤマであった。韓国は大学1.2のチームであり、練習を見る限り激しいパワープレーを仕掛けてくる印象であった。日本選手たちと同世代であり、初戦は緊張感があったが、高い集中力を発揮してくれてダブルス・シングルス共に心技体で圧倒してくれた。パワーで押してくる相手にも全く動じず、凡ミスも少なく、精度の高いショットを繰り出し、普段組まないペアリングであったが、コンビネーションプ

レーも果敢に挑戦して決めていた。韓国戦後も、日本代表として、プライドをもって戦ってくれた。

正直、韓国以外はレベル差があったが、日本チームには勝利以外に、「ソフトテニスの伝道者であろう」という目標があったので、他国選手へのリスペクトも忘れず、しっかりとしたプレーで最後まで戦い抜いて、全勝で優勝を成し遂げた。

女子ダブルス

ダブルスは雨天のため屋内コートで行われた。佐藤・根岸ペアは予選リーグで韓国ペアにファイナルで競り勝ち、決勝トーナメントに進出。準決勝は、北朝鮮ペアとの対戦になり、1ゲーム目はテンポよく先取したものの、2ゲーム目から相手のミスのない配球にポイントがなかなか取れず、リードを許してしまった。その後も相手の巧みな配球に根岸がなかなかゲームに絡めず、2-⑤で敗退。

天間美嘉・左近ペアも予選リーグ全勝で決勝トーナメントへ。韓国ペアとの対戦では、昼を挟んだこともあり集中力に欠け、0-2とリードされるもそこからギアが入って逆転勝ち。

決勝は、スライスやツイストを使って相手を崩し、チャンスボールを左近選手がスマッシュでポイントしたり、カットサービスからの攻撃でリズムを掴んで、⑤-0で勝利し優勝した。

男子ダブルス

矢野・黒坂ペアは予選リーグを圧勝し1位通過したが、片岡・菊山ペアは韓国とのファイナルゲームに屈し、予選リーグ2位となった。片岡選手がミスをしないうようにと慎重になりすぎて、攻撃的な展開が出来ず、韓国ペアに攻め込まれ、最後まで気持ちの面で吹っ切れることが出来なかった。国際大会の怖さを肌で感じる事ができたと思うので良い糧にしてほしい。

片岡・菊山ペアが予選2位だったため、決勝トーナメント初戦で同士討ちということになった。一度負けて吹っ切れた片岡・菊山ペアが予選と別人のテニスをして、矢野・黒坂ペアに競り勝ち、決勝まで駆け上がった。決勝戦は韓国の予選とは違うペアとの対決であったが、予選の反省を活かし、第1ゲームからメリハリのついた片岡選手の攻撃、菊山選手の厳しいプレッシャーで韓国ペアを圧倒し、金メダルをもたらしてくれた。

ミックスダブルス

全員がエントリー。片岡・根岸ペアは根岸選手が男性後衛のボールをなかなか止められず、韓国ペアに予選リーグで惜しくもファイナル負け。

橋場・佐藤ペアは並行陣の場面が多かったが、チャンスでは積極的に前へ詰めてポイントする場面もあり、試合を重ねるごとに戦術を工夫し結果に表れた。

矢野・左近ペアは、矢野選手のサービスエースや攻めのストロークで準々決勝の韓国戦は危なげなく⑤-1でベスト4入り。

ミックスダブルスの経験が浅い天間麗奈だったが、テンポの速さや男子前衛の動きなどに徐々に慣れ、準決勝では矢野・左近ペアに対し、展開を作り黒坂選手が積極的に勝負して⑤-1で勝利した。男子選手に対しても臆することなく攻撃できるどころやフォローのポジショニングが素晴らしく、今後も楽しみである。

天間美嘉・菊山ペアは、終始、菊山選手が先に勝負に行く展開になり、ポイントを重ねた。ファーストサービスの確率も良く、有利に試合を運ぶことができ、優勝を果たした。

女子シングルス

天間美嘉選手の準々決勝。1ゲーム目は長いデュースの末先取したが、2ゲーム目はレシーブにミスが出て流れが悪いままゲームが進行し、その後もサービスレシーブが乱れて押し切られた。佐藤選手は中国のエースにしっかりとコースを打ち分け、終始リードを許さず勝利。天間麗奈選手も中国に隙を与えず④-0。

準決勝は天間麗奈選手と佐藤選手の対戦となった。競りながらも、要所で天間選手の攻撃がポイントにつながり、④-1で勝利した。

決勝は、準決勝で韓国を倒した北朝鮮。独特の間と、驚異の粘り、年々技術力も上がっており、難しい戦いになると思われた。しかし、相手がレシーブで守備に回ったところを逃さず攻撃し、スライスやツイストを使うツアープローチで主導権を握り、④-0で優勝した。

シングルスは中国のレベルも上がってきており、特にハードコートにおいては、バックのスライスの技術は素晴らしい。モチベーションも高く、今後警戒が必要。中国・北朝鮮はカットサービスの返球がミスもあるが、長短を打ち分けており、想像以上に上手かった。

男子シングルス

ダブルスでは国際大会の怖さも知った選手がいたので、シングルス前には「必ず表彰台を独占しよう！」とチームミーティングで誓って、最終種目に対して気合十分で試合に臨んだ。

シングルス慣れした韓国はもちろん、驚異的な粘り・スタミナで不気味な北朝鮮や他国も硬式の戦術を取り入れた独特なスタイルであり、決して侮れない中、北朝鮮や韓国に追い込まれる場面もあったが、疲れた局面でも集中力を保ち、気迫も良く出て、全員が予選を通過し、同士討ちを達成してくれた。同士討ちも、決して慣れ合いのゲームにならず、引き締まったゲーム。他国の選手たちも食い入るように見て、技術を参考にしていた。

特に、橋場選手、矢野選手、黒坂選手は、直前の全日本シングルスでも上位進出しており、ナショナル内でも期待されているメンバーであり、彼らの激しい攻防と配球の駆け引きはA代表とも見劣りしない高レベル

スケジュール

5月21日(水)	練習・監督会議・開会式
22日(木)	国別対抗戦
23日(金)	男女ダブルス
24日(土)	ミックスダブルス
25日(日)	男女シングルス 予選リーグ
26日(月)	男女シングルス 決勝トーナメント



今大会のサーフェスはハードコート



広くて明るい屋内コート

であり、最後には経験豊富な橋場選手に軍配が上がったが、だれが金メダルでもおかしくない戦いであった。

経験という点で、流れを変えるような強弱やペースチェンジが橋場選手は長けており、大会期間中も韓国監督にバックハンドの指導を仰ぎ、技術的にトライしてみたり、コート内外で果敢に自分を変えようとしていた点も素晴らしかった。

大会を通じての課題 (女子)

慣れない環境への適応力、特に食事に関しては脂物が多い中で、消化やバランスを考慮して選び、日本からはインスタント食品を持参するなど、コンディション調整を自分自身で意識的にできるようになること。

想定外なことが起こる中でも、コートではベストパフォーマンスが発揮できるように準備を早めにしっかりとしておく。

シングルスでは深いボールでの打ち分け、攻撃的なスライスボールの技術取得、バックハンドの強化、アプローチからノーバウンドでのポイントするための戦術パターンの見極め。

ダブルスではスマッシュ力の強化、ワイドへの展開

力、コートカバー力、フォロー強化。

大会を通じての課題 (男子)

食事面で苦勞する選手が多かった。デリケートなのか繊細過ぎるのか、もうちょっと『鈍感力』を植え付ける必要性を感じた。

ツインルームは当たり前、食事も国や地域によってどんなものが出るか、それによって準備物も変わってくる。ルールや運営に関しても、『日本が常識』と思わないほうが良い。

今回は幸い、ホテル前にスーパーやファストフード店があったため、食事が合わなかった選手は1週間対処できたが、もっと過酷な環境があるし、それに直面した時に、知らなかった・聞いていなかったと言い訳しないように、自分で乗り切る術も持っておくことが肝要で、他国のマナーなども含めて、アンダー時代からの「学ぶ場」が必要であると感じた。

テニスコートにおいては、精神力というか集中力は非常に高い選手が多く、物怖じしないメンタリティーが構築されている。技術面も他国と比べ、非常に高い。若いJAPANであるが、もっとフィジカル面を鍛えた

ら、すぐにA代表に入れる選手が多い。

誰にも負けない武器・強みを自身で身に付け、さらにワンランク上のステージにいてほしいと感じた1週間であった。

女子も男子も共通して言えるが、他国の『学ぶ姿勢』は見習わなければならない。

特に、時々しか国際大会に派遣しない北朝鮮のフィジカル面や技術面は感心した。交流の時間が持たので、聞いてみたところ、1日練習とトレーニングに明け暮れているようで、技術は専門的に教えてくれるコーチがいないため、今回のような大会でビデオを撮り、自国で分析・研究し、技術的發展・戦術的發展に繋げているとのこと。

韓国の学生チームとも差があったが、ここから彼らはソフトテニスが職業になっていき、生活が懸かったサバイバルに突入する。そこで心技体が一気に上がる可能性がある。

日本の若い選手団も、今置かれている良い環境に決して甘えず、他国のように探求心とハングリー精神をさらに持って、日々鍛錬し、未来のソフトテニス界を明るくしてほしい。

【謝辞】

今大会を開催していただいた中国ソフトテニス連盟、台州スポーツ発展センター、台州市膠江区人民政府の皆様、現地で通訳を担当していただきました陳躍華さん、今回の派遣にあたり、準備をしてくださった(公財)日本ソフトテニス連盟の事務局の皆様にご感謝を申し上げます。

ありがとうございました。



全種別で優勝を飾った選手たち。お疲れ様でした！

上松 俊貴

日本 (JPN)

使用ガット

SSSB11 ソニックブロー

上松俊貴選手使用
ソニックグリーン

SONICBLOW

ソニックブロー

内田理久選手使用
ブローブラック

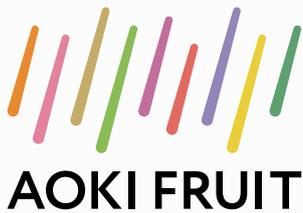
内田 理久

日本 (JPN)

使用ガット

SSSB11 ソニックブロー

GOSEN®



果物のある生活を。



青木フルーツ株式会社

フルーツバー事業

185 店舗
北海道 7店舗 東北エリア 19店舗 関東エリア 61店舗
北陸・甲信越エリア 14店舗 東海エリア 31店舗 近畿エリア 29店舗
中国エリア 7店舗 四国エリア 5店舗 九州・沖縄エリア 12店舗



フルーツタルト&カフェ事業

15 店舗
福島県 8店舗 宮城県 1店舗 茨城県 1店舗
埼玉県 1店舗 東京都 3店舗 神奈川県 1店舗



フルーツジュース&デリ事業

1 店舗
東京都 1店舗



フルーツショップ事業

7 店舗
福島県 4店舗 宮城県 1店舗 茨城県 1店舗
東京都 1店舗



全日本アンダー14男女合同合宿

報告

■ 5月19日～22日

福島県・東白川郡棚倉町 ルネサンス棚倉

5月下旬に福島県のルネサンス棚倉で全日本アンダー14男女の合同合宿が行われました。選手たちはミックスダブルスを初めて経験するなど、充実した時間を過ごしました。その活動内容をお届けします。

男子

監督：合田 清志、コーチ：山崎 裕貴、トレーナー：深間内 誠

合宿の目的

- ・人間力向上
- ・フィジカルの強化
- ・ハードコートへの対応
- ・中間ポジションの強化
- ・フォローク力の強化
- ・栄養学への理解
- ・アンチドーピングへの理解

合宿の成果

2回目の合宿となった今回は、20名全員が揃い、活気のある充実した合宿を行うことができた。

U-14の選手にとってはなかなかプレーする機会がないハードコートでの練習であったため、コートサーフェスに応じた取り組みを行った。「空中戦を制す」をテーマに、ボレーボレー、ローボレー、ハイボレー、スマッシュなどの技術はもちろん、時間やスペースを軸に戦術の共有を行った。

前回の合宿で、本来のポジション（前衛・後衛）ではないシーンでのプレーにU-17やU-21との差を感じたため、コートのどこにいてもプレーできるようになるための練習を行った。まだ粗削りではあるものの、ハードワークを徹底することで次のボールへの対応力が向上し、返球されたボールに対してコートにいる全員が連動して動くことで、「ディフェンスしながらオフenseへ」の切り替えができるようになった。

トレーニング面では、かなりの負荷をかけて実施した。体力的にも筋力的にも追い込んだトレーニングを行ったが、全員が弱音を吐くことなく常に積極的に行うことができ、やり遂げた達成感からかチームに一体

感も生まれた。

また、今回U-14女子チームと一緒にミックスダブルスを実施できたことは貴重な経験となった。普段女子選手と組んで試合することが少ない中で、相手の弱点に気づく目、自分たちの弱点をカバーする考え方を学ぶことができた。

栄養学やアンチ・ドーピング、セルフケアの知識も身につけることができ、トップアスリートであるための心構えを理解することができた。

今後の課題

2月の合宿で課題として提示していた内容を大きく改善して今回の合宿に臨んでいた選手が多かった点に、選手たちの意識向上を感じた。まだ粗削りであるため、精度の向上が大きな課題。それぞれの所属で量を重ね、いついかなる時も質の高いプレーを発揮して欲しい。質の高いプレーを発揮するためには、フィジカル強化が不可欠。体幹トレーニングを中心に、継続的かつ計画的なトレーニングを求めていきたい。

もう一つは、選手たちの「日本代表」への想いの強



ハードコートでの練習

さ。自身が「日本代表」になっている姿をどれだけ具体的にイメージできるかが必要である。どの国際大会でデビュー戦を飾り、どの国際大会で金メダルを獲るのか。具体的なビジョンの提示が求められる。本気で「日の丸を背負う」ことを目指した選手だけが生き残る世界であるため、早くそのことを自覚し、これからの取り組みに落とし込んでいって欲しい。

トレーニング風景



栄養学講座を受けている選手たち

女子

監督：松崎 法夫、コーチ：海江田 佐奈美、トレーナー：平良 明日香

合宿の目的と方法

〈目的〉

- 日本代表として世界のトップに立つ意識を持たせる
- 人間力を持ち合わせた自立した選手の育成（愛される人間性を身につける）
- ボールのスピードを高める（しなやかにかつ的確にヒットすることで初速のスピードを高める）
- フットワークの強化（ボールを打つ時の様々なフットワークの実践）
- 思考力や観察力を高める
- U-14男子とのミックスダブルスで競技力を高める
- ウォーミングアップの方法やトレーニングの方法を学び、自ら継続的に実践できる力を養う

〈方法〉

- ミーティングや練習中の声掛けによって国際大会に対する意識を育成する



男女とも貴重な経験を得たミックスダブルス

- 他競技で活躍するスポーツ選手の考え方や成功する方程式を学び人間力を高める
- 体や腕、ラケットをしなやかに動かすことによりスピードボールを生み出す（良い音を出す）
- フットワークを良くする（ボールに応じての足捌きによって安定したボールコントロールを実践する）

- 相手のことや先のことを考える力を身に付けさせるために、相手の心理や考えに注目させる
- U-14男子の威力のあるボールやテンポの早い打球に対するの対応を磨く
- 平良トレーナーからの指導を理解させ合宿中に実践できるようにさせる

合宿の成果と課題

- ミーティングにおいて、現ナショナルチームメンバーがU-14選手だった時の話をして、U-14メンバーとしての心構えと高い競技力を目指す志を持たせたと感じる。
- 成功する方程式について学んでもらい、どんな時も「ご機嫌でいる」ことの重要性を理解してもらったと思う。あとは普段の私生活から実践してもらいたいと思う。
- スポンジボール、バドミントンシャトル、硬式テニスボール、ソフトテニスボールの4種類でボレーボールを行うことで、インパクトに対する意識を高め、スウィートスポットできれいにボールをヒットして素速く飛ばすことを意識させることはできた。「良い音」が出たプレーが増えたと感じる。
- 今回のフットワークは、移動の足捌きではなく「ボールを打つ時の足捌き」に着目し、様々なボールに対して、足を使ってラケットを動かすことを理解し、実践できたと感じる。
- ミーティングの中で、相手の置かれた状況を把握したうえで、相手の表情や仕草を観察して予測につなげることを伝えた。今後、戦術を考える一助にして



アンチ・ドーピングの講義を受けている選手たち

ほしいと思う。

- U-14男子選手と試合をする機会をつかったことにより、男子選手のスピードを体感した。手応えよりも課題を多く感じたはずである。
- 平良トレーナーの手厚い指導により、理解度は高まっていると感じる。今後、毎日取り組むべきトレーニング内容について提示されているので、あとは選手が実践して成果を出してくれることを期待したい。

謝 辞

今合宿に際しましては、所属選手の参加につきましてご理解いただき心より感謝申し上げます。男子選手と試合ができたことで向上心が高まり、より積極的な活動によって競技力が向上することを期待しています。

参加しました女子選手たちの今後のますますの活躍を期待して御礼の言葉といたします。ありがとうございました。

今後とも日本のソフトテニス界のために力を尽くしたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いします。



全日本アンダー14男女の集合写真

活動内容

5月19日(月)

14:00 コート集合

- ・ウォーミングアップ
- ・体力測定
- ・ボールを打つ時の様々なフットワークの実践
- ・ノーバウンドで打つ(ボールを適切なヒットポイントに引き込んで打つ)
- ・クールダウン

夕食後、ミーティング(20:00～)

※医科学委員会医学部会の今井先生による「栄養講座」

5月20日(火)

7:00 朝食

8:30 コートへ移動

9:00～12:00 練習

- ・ウォーミングアップ
- ・体力測定
- ・ミックスダブルスのペアリング及び組み合わせ抽選会
- ・ミックスダブルスのファイナル1ゲームマッチ
- ・トレーナーによるクールダウン

※昼食時に医科学委員会アンチ・ドーピング部会の上遠野先生によるアンチ・ドーピング講座)

14:00～17:30 練習

- ・ウォーミングアップ
- ・ミックスダブルス選手権大会(5ゲームマッチ)
- ・クールダウン

夕食後、ミーティング(20:00～)

①平良トレーナーからウォーミングアップやトレーニングの重要性についての講義

②監督からフェデラーのフットワークの種類についてと、ボールとの距離がほぼ一定であることの確認をした。また、成功の方程式についてYouTubeを使用しての講義

③海江田コーチからの総評

5月21日(水)

7:00 朝食

8:30 コートへ移動

9:00～12:00 練習

- ・ウォーミングアップ
- ・スポンジボール、バドミントンシャトル、硬式テニスボール、ソフトテニスボールの4種類でボレーボレーを行う
- ・ボレーボレー(サイドステップを続けながら)
- ・海江田コーチによるボレーレッスン
- ・クールダウン

13:00～17:00 練習

- ・ウォーミングアップ
- ・シングルスゲーム(9ポイントマッチ)リーグ戦
- ・シングルスゲーム(9ポイントマッチ)トーナメント戦
- ・ショートボールの足捌きとショートクロスへ打つ時の足捌き
- ・クールダウン

夕食後、ミーティング(19:50～)

①自立のためには!? 勝つということ!! 成功の方程式についてYouTubeを使用しての講義

②平良トレーナーからの総評

③海江田コーチからの総評

5月22日(木)

6:50 朝食

8:00 コートへ移動

8:15～11:15 練習

- ・ウォーミングアップ
- ・ダブルスゲーム(5ゲームマッチ)
- ・クールダウン

バッジ・カップ・トロフィー・楯・旗・ネームプレート・ギフト品・各種記念品



株式会社

秋 場 徽 章

〒110-0003 台東区根岸4-2-4 2F

TEL03(3873)1955 FAX03(3873)1599



Developing Technology into the Future

私たちは、トータルな視野でシステムを捉えお客様の個別のニーズに的確に対応します。



カメラモジュール・水晶デバイス・センサデバイスなど、電子部品の生産設備を複合的な技術と視点で、計画から開発・運用サポートまでのソリューション型製品として提供しています。

アクティブアライメント装置 AAAS860

CMOSセンサへVCMユニットを組み合わせ、6軸でアクティブアライメント後、接着剤の仮硬化を行います。



レンズ組み立て装置 ALDS860

複数枚のレンズを一枚ずつ搭載し、接着剤塗布・UV硬化を行い、収納トレイに収納を行います。



リッド仮付け・真空アニール・真空シーム溶接装置 AVSS860

水晶振動子、MEMSセンサなどのセラミックパッケージにリッド仮付け・真空アニール後、真空中で気密封止を行います。



全日本アンダー 21 女子強化合宿

報告

■ 5月14日～16日

宮崎県・宮崎市 生目の杜総合運動公園テニスコート、清武総合運動公園テニスコート

監督：伊加 英隆、コーチ：武元 望美、トレーナー：土井内 友巳奈

合宿の目的

全日本シングルスに向けての取り組み

- 大会参加者全員の上位進出を目指して、最終確認と（公財）日本ソフトテニス連盟医科学委員の村山孝之先生からの試合で起こりうるネガティブイメージ払拭のためのメンタルテクニックの実践。
- 練習ゲームを数多く行い、本番に向けて万全の準備ができるように取り組ませる。

活動内容

〈フィジカルトレーニング〉

土井内トレーナーの指導のもと、大会前ということで柔軟性向上に取り組んだ。

〈メンタルトレーニング・技術トレーニング〉

村山先生のご指導のもと、ゲーム中に起こりうるミスをした後の自分のメンタルコントロールの手法の解説をいただいた。また、各技術練習中に各選手が実

際に取り組み、自分で効果を実感し次のプレーがポジティブに取り組める方法を探す取り組みを実施した。

- ミスをした後にネガティブ志向にならない（もう一度チャレンジしよう！・ミスはつきもの）。ポイントしてもミスしても、常に一定の表情を意識して保つ。
- 疲れた時こそ集中力アップ（追い込み練習の後にすぐサービスノーミス練習）。

合宿の効果・感想

2026年の名古屋アジア競技大会のターゲット選手世代と位置付けており、今回第1回の合宿からナショナルチーム、さらにはU-17・U-14と全カテゴリーで合同合宿ができたことはよかった。

今回は、全日本シングルス大会直前合宿なので万全の状態での大会参加させることができた。また、U-17との練習マッチを行い、負けられないプレッシャーや意地などが表現できたことは、選手全員のモチベーションアップにつながったと思う。



熱さに気を付けながら練習する選手たち



全日本 U-21 女子の選手たち



夜に行われた小久保先生による栄養講習会

今後の課題

今年度のナショナルチームの選手層の若年齢化が進み、U-21・U-17世代が多くなってきているが、基本的な技術・戦術等にさほど差を感じないが、先にも述べたように覚悟の差ではないかと思う。その点が、まだまだ足りない点ではないか。

他競技と比べても国際大会での若年層の活躍は乏しいと思う。代表に選ばれてから意識を高めるのではなく、いつ選ばれても100%の実力を発揮できるメンタルコントロールができるようになって欲しい。

活動内容

	5月14日(水)	5月15日(木)	5月16日(金)
会場	生目の杜総合運動公園	生目の杜総合運動公園	清武総合運動公園
6:00		散歩	散歩
7:00		朝食	朝食
8:00		移動/準備	移動/準備
9:00		ウォーミングアップ トレーニング	
10:00		技術練習 (基本練習) (ゲーム形式) (村山先生個人面談)	大会会場練習
11:00			
12:00		昼食	昼食
13:00	集合 諸準備		解散
14:00	ウォームアップ トレーニング・技術練習 (ポイント・ミスによって感情 を左右されない。常に冷静に) (追い込み練習の後にサービス ノームス練習)	練習マッチ (U-17との練習マッチ)	
15:00			
16:00			
17:00	片付け/移動	片付け/移動	
18:00	入浴	入浴	
19:00	夕食	夕食	
20:00	講義 医科学委員会の村山先生による メンタルコントロールの手法に ついて (村山先生個人面談)	講義 医科学委員会の 小久保先生による 栄養講習会 (小久保先生個人面談)	
21:00			

感動！ サプライヤー ケンコーボール

1934年創業以来85年以上にわたり 一心にボールを作り続けてまいりました。
これからもスポーツライフに相応しい自信作をお届けしていきます。



(公財)日本ソフトテニス連盟公認球
ケンコーソフトテニスボール



(公財)全日本軟式野球連盟公認球
ケンコーボール



(公財)日本ソフトボール協会検定球
ケンコーソフトボール

KE  **KO**
BALL
ケンコーボール

ナガセケンコー株式会社 www.nagase-kenko.com



全日本アンダー17女子強化合宿

報告

■ 5月14日～16日

宮崎県・宮崎市 生目の杜総合運動公園テニスコート

監督：高橋 茂、コーチ：尾上 胡桃、トレーナー：高川 亜紀

合宿の目標

シングルス強化(全日本シングルスに向けて)

- ・雨の日対策
- ・サービスの強化
- ・レシーブ自滅防止
- ・試合当日に向けてのピーキング

フィジカルトレーニング

全日本シングルス選手権大会直前合宿ではありませんでしたが、シングルス強化をテーマに主として、動き続ける下半身トレーニングを実施。

- ・下半身強化とフットワークトレーニングを強化。コートを走りまわる足。ボールを打ち続ける足。
- ・身体を支える足の強化。
- ・低重心の意識付け。
- ・2月の合宿から毎日のランニングと縄跳びトレーニングを取り入れ、実践している選手は効果としてあらわれていた。縄跳びも1000回(引っかかることなく)こなす選手もいた。
- ・技術向上を狙うために、体力向上し、体カトレーニングでメンタル強化を図る。
- ・将来ソフトテニスの日本代表になるために、自分に負けない!我慢をする!心を強くする(トレーニングにおいて声掛けをし、頑張る選手に育成する)。

合宿ミーティングの内容

- ・U-17としての目標である全日本シングルスベスト8に4名入るといふ目標について確認。
- ・今は様々なトレーニングに対して“やらなければならない”ということを自覚させること。



▼砂入り人工芝のコートで練習に励む選手

合宿の成果

U-17という1つのチームとして戦うマインドを作ることができた。

また、フィジカルトレーニングのおかげでコートが大きくカバーできる選手が増えたように感じる。

今後の課題

今回は全日本シングルス前ということで、合宿直後に控えた試合に向けての練習をしたが、その目標よりも、日本代表になって世界で戦うための技術や戦術・メンタルの強化を行うべきだったと感じている。

雨で各々が自分のベストを出しきれないまま、守りのテニスになって負けて行く選手がほとんどだったので、指導力の甘さを痛感した。高校生だからこそ、日本代表を目指せる選手だからこそ、もっとチャレンジングに世界を目指した指導の継続が必要。

謝辞

本合宿において宮崎県ソフトテニス連盟の皆様にはお世話になりました。心より感謝申し上げます。

全日本U-17女子の選手達



第54回

ゴーセン杯争奪

ハイスクールジャパンカップ2025

■ 6月20日・21日 北海道・札幌市 円山庭球場

北海道ソフトテニス連盟

会場の円山庭球場



男子シングルスは植田選手(高田商)が2連覇を達成 女子シングルスは塚本選手(広島翔洋)が初優勝を飾る

6月下旬に北海道・札幌市で開催された今大会。男女シングルスは植田選手(高田商)と塚本選手(広島翔洋)が制覇。一方、男子ダブルスは植田・荻谷ペア(高田商)、女子ダブルスは竹平・中谷ペア(須磨学園)が優勝を飾りました。植田選手は単複を制しています。

男子シングルス優勝



植田 璃音(奈良. 高田商)

女子シングルス優勝



塚本 七海(広島. 広島翔洋)

男子ダブルス優勝



植田 璃音・荻谷 侑磨(奈良. 高田商)

女子ダブルス優勝



竹平 碧純・中谷 ももこ(兵庫. 須磨学園)

女子
シングルス



準優勝 中谷 ももこ (兵庫. 須磨学園)



第3位 宮下 日香莉 (石川. 能登)



第3位 佐藤 愛 (和歌山. 和歌山信愛)

塚本 七海

広島県・広島翔洋

1	佐々木南帆	北海道	とわの森三愛	3		保木 結衣	滋賀県	長 浜 北	33
2	螺良 寧々	栃木県	白鷗大足利		0	岡崎 紗奈	静岡県	焼 津	34
3	藤井 海優	滋賀県	甲 西	3	3	今田 心	島根県	出雲北陵	35
4	松尾 咲和	大分県	大 分 商		1	中谷ももこ	兵庫県	須磨学園	36
5	近坂 優衣	岡山県	就 実		1	伊藤美咲華	広島県	広島翔洋	37
6	中島菜々美	長野県	松商学園	0	0	井口 美月	愛知県	岡崎城西	38
7	宮下日香莉	石川県	能 登		1	後藤 千尋	東京都	文大杉並	39
8	廣瀬 礼衣	広島県	広島翔洋	2	2	柴田愛美香	北海道	帯広緑陽	40
9	宮本 絢菜	福島県	学法石川		0	嶋野 杏	北海道	札幌大谷	41
10	國居 花音	山口県	徳山商工	0	2	北原 涼葉	高知県	土佐女子	42
11	仲倉 玲依	鳥取県	米子松蔭		1	藤原 妃花	山梨県	笛 吹	43
12	武下 和奏	愛媛県	済 美	1	1	岩見 莉歩	石川県	能 登	44
13	長谷部百咲	福岡県	中村学園女子	0	1	相内 花音	群馬県	前 橋 商	45
14	丸山 姫衣	群馬県	高崎女子		2	大凶 果凜	茨城県	常 磐 大	46
15	堀内 絢香	北海道	札幌龍谷学園	0	0	堀口 路葵	三重県	三 重	47
16	竹田 羽花	大阪府	昇 陽		1	岡野 巴咲	岡山県	就 実	48
17	塚本 七海	広島県	広島翔洋		1	高木 夕愛	岐阜県	岐阜商	49
18	佐々木美空	北海道	北見柏陽	0	0	松本 怜奈	千葉県	柏 中 央	50
19	西村 奏音	長崎県	長 崎 商		1	佐藤 美緒	秋田県	秋田令和	51
20	鈴木 心暖	宮崎県	日南学園	1	2	山口 優菜	宮崎県	宮 崎 商	52
21	伊芸 美桜	沖縄県	糸 満	2	2	吉澤 茉莉	新潟県	北 越	53
22	石井 海菜	神奈川県	相 洋		2	鈴木 詩乃	岩手県	一関学院	54
23	石井 胡桃	佐賀県	嬉 野	2	2	山田 玲華	北海道	旭 川 実	55
24	錦見 彩生	香川県	尽 誠 学 園		2	高橋 陽奏	青森県	八戸工大一	56
25	荒田 空愛	鹿児島県	鹿児島実	3	2	房野 紗千	大阪府	四天王寺	57
26	西村 ひよ	京都府	京都光華		3	中嶋 海音	熊本県	熊 本 工	58
27	三上 紗楠	山形県	山形城北		3	對馬 優	山形県	羽 黒	59
28	村上 芹	宮城県	東 北	3	0	太田 倫	京都府	京都光華	60
29	遠野 遥	徳島県	脇 町	0	2	佐藤 愛	和歌山県	和歌山信愛	61
30	福井 理央	奈良県	高 田 商		2	高倉 都羽	富山県	高 岡 商	62
31	桶谷妃名理	福井県	福 井 商		0	関 心那	北海道	とわの森三愛	63
32	西畑 咲愛	北海道	札幌大谷	2	1	西條友依子	埼玉県	埼玉平成	64

(公財)日本ソフトテニス連盟 創立100周年を機に、新たな指針へ

はじめに

(公財)日本ソフトテニス連盟は、1924(大正13)年に創立して以来、ソフトテニスの振興に努め、多くの選手や指導者とともに競技の成長を支えてまいりました。そして、2024年に創立100周年を迎え、この歴史的な節目を機に、これまでの歩みを振り返るとともに、次の100年に向けた新たな指針を定めます。

日本ソフトテニス連盟は、これまでソフトテニス競技の普及と強化を推進し、多くの成果を上げてきました。しかし、社会環境の変化やスポーツに対する価値観の多様化に伴い、組織の役割や求められる使命も変化しています。このような中、関係者が共通の価値観を持ち、一丸となって活動を進めるためには、連盟としての「**使命(Mission)**」「**目指す未来(Vision)**」「**大切にする価値観(Value)**」を明確にする必要があります。

100周年を迎えた今、日本ソフトテニス連盟の存在意義を再定義し、競技のさらなる発展と社会への貢献に向け、その指針としてMVVを策定します。このMVVを通じて、ソフトテニスを楽しむすべての人々とともに、次世代につながる新たなステージへと歩んでまいります。

MISSION

日本発祥のソフトテニスを継承・発展させ 誰もがこのスポーツを通じて、 自らの人生をデザインできる社会を築く



日本発祥のソフトテニスを継承・発展させ

私たちは時代に合わせた知恵と工夫により、ソフトテニスを生み出し、様々なプレイスタイルを可能にしながら、国際的な競技へと発展させてきた歴史を持っています。これまでラケットスポーツを代表する競技として、ボールを打ち合う楽しさや仲間と協調する大切さと共に、戦術を駆使する深みを伝えてきました。日本発祥のソフトテニスを継承し発展させることは私たちの使命であり、次なる100年において人々の人生をさらに豊かなものにします。

誰もがこのスポーツを通じて、自らの人生をデザインできる社会を築く

ソフトテニスは子どもから高齢者まで体を動かす喜びや仲間とプレーする楽しさを与えてくれるスポーツです。私たちは、この競技の多様な楽しみ方や奥深さを通じて得られる経験が、日々の行動や考え方に影響を与え、最終的には「自分らしい人生」を築くことに繋がると信じています。ソフトテニスを通じて、一人ひとりが尊重される平和な社会の実現に貢献していきます。

人生をデザインするとは？

ソフトテニスを通して、個人の能力開発や社会との関わりが生まれることで、豊かな人生の実現を目指す。



1 ソフトテニスを通じた自己成長

- ・技術向上や試合での経験を通じて、目標達成能力、課題解決能力、判断力などを養う。
- ・団体戦などコミュニケーションを通じて、協調性やリーダーシップを身につける。



2 ソフトテニスを通じた社会との繋がり

- ・地域や世代を超えた人々との交流を通じて、コミュニティへの貢献や社会との繋がりを深める。
- ・ソフトテニスの指導や普及活動を通じて、次世代の育成や社会貢献を行う。



3 ソフトテニスを通じた豊かなライフスタイルの実現

- ・ソフトテニスを生涯にわたって楽しみ、健康維持や充実した余暇活動に繋げる。
- ・ソフトテニスを通じて得た経験やスキルを、キャリア形成や自己実現に活かす。

MISSION

Towards
10
Year

MISSION・VISION・VALUEとは？



MISSION
社会的使命
活動の軸になるもの



VISION
目指す未来
ワクワクする未来像



VALUE
行動基準
大切にしている価値観

VISION

ソフトテニスがもっと身近になり、 日常につながる新しいライフスポーツへ



ソフトテニスは、学校教育の中で広まり、多くの人々に愛されてきました。これまで根づいてきた価値を大切にしながら、さらに多くの人々がソフトテニスに触れ、楽しみ、関わることのできる**新しいスポーツ文化へと発展させていきます**。競技の枠を超え、観る・支える・つながるなど、**多様なかたちでソフトテニスが日常に息づく世界を目指します**。

- | | | | |
|---|----------------------------|---|---|
| 1 | プレースタイルや楽しみ方の多様化 | → | <ul style="list-style-type: none"> ・競技としてだけでなく、ライフスタイルとしてのソフトテニス ・世代や目的に応じた柔軟な取り組み |
| 2 | 観戦文化の発展と情報の発信 | → | <ul style="list-style-type: none"> ・試合を観ることが日常の一部になる ・SNS等の活用によりファンが応援しやすい環境を整える |
| 3 | テクノロジーの活用 | → | <ul style="list-style-type: none"> ・AI補助審判、試合速報デジタル化や電光掲示板などの設置による大会進化 |
| 4 | コミュニティとのつながりを強化 | → | <ul style="list-style-type: none"> ・地域における人々をソフトテニスでつなぐ ・異なる競技や文化と融合したマルチスポーツの推奨 |
| 5 | 国際大会開催の支援と様々な国・地域の競技力向上に貢献 | → | <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な普及活動のさらなる推進 ・新たな戦術と戦略を創造し、世界を先導する競技者や指導者の持続的な育成 |

VALUE



開かれた対話

目的に向かうために壁を越えた自由なコミュニケーションを大切にする。



多様性之力

変革に向けた新しい価値を生み出すために多様な意見を取り入れる。



時代を超える挑戦

社会や自然環境の変化に対応した新しい取り組みに挑戦する。



公正な判断と対応

組織の公正性と透明性を重視する。



持続可能な運営

経済的、社会的、環境的に持続可能な方法で組織を運営する。



公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 中期財務方針

1. 基本方針策定の背景と前提

近年における人口動態の変化や新型コロナウイルス感染症の影響等により、本連盟の財務基盤は悪化し、徹底した支出削減努力にもかかわらず2025年度には登録料改定に至った。本中期財務方針は、このような状況下で持続可能な組織運営とソフトテニス競技の発展を目指すため、今後数年間の財務運営に関する基本的な考え方を示すものである。

2. 中期財務方針

上記の現状認識と前提事項を踏まえ、本連盟は以下の財務方針に基づき健全な財政運営を推進する。

- (1) **収支均衡と事業規模の維持** 単年度での収支均衡を基本とし、極力現行の事業規模の維持を目指す。ただし、社会情勢の変化に応じ、事業規模の見直しや効率化を適宜検討する。
- (2) **収入構造の転換と多様化** 主に中高生に依存した従来の登録料収入から、社会人を中心とした登録料収入に加え、スポンサー収入を重要な柱とする構造への転換を図る。また、審判資格や技術等級の認定料等についても、その意義や対価に見合った見直しを進める。
- (3) **重点領域への資源配分と効率的な支出** 限られた財源を有効活用するため、以下の重点領域に資源を配分し、既存事業の支出効率化を図る。
 - **大会企画・広報・マーケティング:** ソフトテニスの注目度向上、新たなファン層の開拓、スポンサー収入の拡大を目指し、予算を増額する。魅力的な大会企画の構築と実施や、効果的な広報戦略、ターゲットを絞ったマーケティング活動を展開する。
 - **大会運営:** 大会を複数の層に分け、本連盟からの関与度合いを明確化することで、効率的な運営体制を構築する。財政状況に応じて、大会開催規模や運営体制を調整する。
 - **強化活動:** 登録会費収入の増減に合わせて事業規模を適切に調整する。効率的かつ効果的な育成プログラムを開発・実施する。
 - **国際活動:** 競技力向上のみならず、ソフトテニスの持つ多様な価値観を国際社会に広めていく社会活動と位置づけ、予算を増額する。国際競技大会での序列のみを追求するのではなく、国際交流や相互理解の促進を重視する。
 - **普及振興:** ソフトテニスの普及と振興は、会員増加と競技力向上に不可欠であり、予算を増額する。地域社会との連携を強化し、多様な層がソフトテニスに触れる機会を創出する。
 - **事務局業務、組織運営、その他:** 日本連盟および支部を含めた運営基盤の強化を図りつつ、テクノロジーを積極的に活用することで業務の効率化を図り、運営コストの削減を目指す。
- (4) **今後強化する活動** 具体的な活動内容は今後の検討課題とするが、ソフトテニスの新たな価値創造や社会貢献につながる活動を積極的に検討し、必要な予算を確保する。

3. むすび

本中期財務方針に基づき、公益財団法人 日本ソフトテニス連盟は、変化する社会情勢に柔軟に対応し、健全な財政基盤を確立することで、ソフトテニス競技の持続的な発展と普及に貢献する。

会員各位、関係各位のご理解とご協力をお願いしたい。



公益財団法人 日本ソフトテニス連盟

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 創立100周年記念式典・祝賀会 開催報告

6月21日、グランドプリンスホテル高輪（東京都）にて、「公益財団法人 日本ソフトテニス連盟 創立100周年記念式典・祝賀会」が盛大に開催されました。当日は、全国加盟団体の関係者や多くのご来賓が一堂に会し、100年の歴史を振り返るとともに、次なる時代への一步を踏み出す貴重な機会となりました。

式典冒頭では、安道光二会長より、これまで支えてくださった全ての皆さまへの感謝と、次の100年に向けた連盟の決意が語られました。続いて、加盟団体を代表して、岡山県連盟会長であり現・財務大臣の加藤勝信氏が祝辞を述べられました。

さらに、スポーツ庁（橋場健審議官／室伏広治長官代理）、公益財団法人日本スポーツ協会（森岡裕策専務理事）、公益財団法人日本オリンピック委員会（谷本歩実理事）など、スポーツ界を代表する来賓の皆様からお言葉をいただき、ソフトテニスが日本社会の中で果たしてきた役割とその価値があらためて共有されました。

祝賀会では、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会の中森康弘副事務局長によるご挨拶ののち、乾杯とともに華やかな雰囲気にもまれ、参加者同士の交流が深まりました。

また、国際連盟および大韓協会のチョン・インソン会長、中華民国協会のチュ・ウェンチン会長も来日され、国際的な広がりの中での連盟の存在感とつながりが強く印象づけられました。

式典中には、「ソフトテニス創始140年・連盟創立100年のあゆみ」と題した記念映像が上映され、戦後復興期から現在に至るまでの軌跡が、映像とともに丁寧に振り返られました。さらに、100周年記念事業として策定された「ミッション・ビジョン・バリュー（MVV）」および中期財務方針の発表と記念シンボルマークの紹介も行われ、今後の連盟活動における新たな指針が提示されました。

この100周年の節目を機に、日本ソフトテニス連盟は「誰もがこのスポーツを通じて、自らの人生をデザインできる社会を築く」というミッションを掲げ、競技の国内外におけるさらなる発展と、より日常に根ざしたスポーツ文化の実現に向けて、力強く歩みを進めてまいります。



都内のホテルで盛大に行われた「公益財団法人日本ソフトテニス連盟創立100周年記念式典・祝賀会」



挨拶する安道会長

令和6年度

支部功労者・優良団体

紹介

Vol. 8

群馬県

支部功労者 新保 正 氏

〈受賞の感想〉

この度は、支部功労者という身に余る栄誉を賜り、群馬県ソフトテニス連盟をはじめ多くの関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

中学入学とともに軟式庭球部に入部してから、選手、指導者として、今日までテニスを続けてくることができたのは、渋川ソフトテニスクラブの先輩、仲間たちの存在があったからだと改めて感謝の気持ちと幸せを感じています。

〈今後の抱負〉

これからも健康に気をつけながら、地域の方々と一緒に、ソフトテニスを楽しむとともに、生涯スポーツとしてのソフトテニスの普及や次世代を担う子供たちの育成にかかわっていきたいと思います。



群馬県ソフトテニス連盟の推薦理由

永年にわたり、渋川クラブと群馬県ソフトテニス連盟渋川支部の中心人物として、佐藤次郎杯大会の運営を始めとし、群馬県におけるソフトテニス競技の普及・発展に努め、多大な功績をあげられています。

また、渋川ソフトテニススポーツ少年団では、設立当初から携わり、多くの名選手を輩出するとともに、渋川支部長として永年にわたり支部の発展に尽力されています。

支部功労者 丸山 博 氏

〈受賞の感想〉

この度は、支部功労者という栄誉を賜り、群馬県ソフトテニス連盟をはじめ関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

祖父から清水善造さんの昔話を聴いて育ち、中学から軟式庭球部に所属、高校教員として部活指導に関わり、連盟ではウェブサイトを立ち上げ、この歳までソフトテニスに携わってこられたことに感謝しております。

〈今後の抱負〉

間もなく群馬県で開催される国民スポーツ大会の成功と、ソフトテニスの普及振興の為に尽力したいと思います。



群馬県ソフトテニス連盟の推薦理由

永年にわたり教員として技術力向上に努め、関東教員に継続的に出場し、個人戦団体戦ともに何度も優勝した実績があります。

また、スポーツ少年団の指導にも情熱を注ぎ、ジュニア育成に尽力しました。平成15年から令和3年まで県連の広報部長として、ホームページ作成に携わり、広報活動に尽力しました。令和4年から県連副理事長として、大規模大会の運営等に貢献しています。

優良団体 碓氷安中ソフトテニスクラブ

〈受賞の感想〉

この度は、優良団体という栄誉を賜り、誠に有難うございます。

このような評価をいただくことができましたのも、これまでクラブの運営、競技に尽力いただいた諸先輩を始め、熱心な活動でクラブの活動を盛り上げたクラブ員、そして県連を始めとする多くの皆様のご支援のお陰と、改めて感謝申し上げます。

〈今後の抱負〉

地域移行が進められている中学校の部活動の休日支援や、ジュニアの指導育成に努め、クラブ主催のジュニア・中学生研修大会を更に充実させて、競技人口の拡充に繋げていきたいと思っております。



若手、シニアともに人数も多く、クラブ内の競争も盛んですので、是非頑張って、関東・東日本・全国大会での更なる活躍を目指して参ります。

群馬県ソフトテニス連盟の推薦理由

碓氷クラブと安中クラブは地理的・歴史的に交流があり、平成6年に統合され碓氷安中クラブとなりました。

クラブ主催の地元小中学生を対象にした春秋2回の研修大会は、現在も続いており、ジュニア育成に貢献しています。この他、初心者テニス教室や、中学部活動地域移行に対応するため、中学生の実技指導も毎週土日に行い、幅広いソフトテニスの普及に努めています。

一方、競技成績も県内大会上位入賞常連となり、全日本クラブ選手権大会では平成30年に念願の優勝を果たす活躍をみせ、会員数は80名を数える県下トップのクラブに成長しています。

支部功労者・優良団体

紹介

Vol. 9

新潟県

支部功労者 高橋 静子 氏

〈受賞の感想〉

この度は、支部功労者という身に余る栄誉を賜り、関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

夫の転勤であちこちと転居しましたが、その行く先々でソフトテニスができる環境に恵まれたおかげで、今日に至るまで途切れることなく続けることができました。

また、ソフトテニスを通して素晴らしい仲間が沢山できたことは私の人生における宝と感じております。楽しくソフトテニスをしながらも長い間役員を務めさせていただけたのは皆様のご協力の賜物と感謝しております。

〈今後の抱負〉

ソフトテニスは生涯スポーツとして年を重ねてもできるスポーツです。

今後とも心身の健康のため可能な限り楽しくソフトテニスが続けていくつもりです。

また、愛好者増加につなげていけるように以前ソフトテニスをしていた方や転居して来られた方々を(子・孫を含めて)積極的に誘い、身近なところからソフトテニス人口を増やすことを心がけていきたいと思っています。



新潟県ソフトテニス連盟の推薦理由

10年以上の長きにわたり新潟県ソフトテニス連盟レディース支部の副会長を務め、レディースソフトテニスの発展に多大な貢献をされました。

会計責任者としての手腕を発揮すると共に、2015年の全日本レディースソフトテニス個人戦大会をはじめとする各種大会時には主に総務の分野で円滑な運営に不可欠な存在として尽力しました。

支部功労者 和田 喜久夫 氏

〈受賞の感想〉

このたびは、支部功労者という栄誉を賜り関係者各位に深く感謝申し上げます。

中学校でソフトテニスと出会い、50年を超える長きにわたりプレーヤーとして、また、理事等の役員としてかかわることができたことは望外の幸せでした。その間、年齢・性別を問わず多くの方々との交流があり、ソフトテニスの良さを十分に楽しむことができました。

また、近年は子世代、孫世代の方々も元気に活躍する姿を見ると『継続は力なり』を実感しています。今後もソフトテニス時代に対応する中で発展していくことを願って止みません。

〈今後の抱負〉

近年のソフトテニスは戦術のバリエーションが広くなり、また、メディアについても多方面に広がりが見え、見るスポーツとしてもソフトテニスの魅力を感じております。

このソフトテニスの面白さを多くの方々に味わっていただきたいと何かにつけて発信できていけたらと存じます。



新潟県ソフトテニス連盟の推薦理由

和田氏は長きにわたり、新潟県ソフトテニス連盟理事、魚沼支部支部長、魚沼市ソフトテニス協会会長を務め、県連運営および魚沼市ソフトテニスの発展に大きく貢献しました。

また、自身もプレーヤーとして県大会、東日本大会、全国大会に積極的に参加するとともにジュニア指導に尽力され、ソフトテニスの普及・発展に寄与しています。

優良団体 上越ジュニアソフトテニスクラブ

〈受賞の感想〉

この度は日本ソフトテニス連盟の優良団体表彰を頂き深く感謝申し上げます。日頃よりお世話になっております新潟県ソフトテニス連盟をはじめ関係各位の皆様にお礼申し上げます。

この受賞を励みにしてコーチ一同、ソフトテニスの楽しさや素晴らしさをより多くの子供達に伝えていきたいと思っております。

〈今後の抱負〉

上越市ソフトテニス協会のジュニア教室として、令和6年度で活動42年になりました。

長年受け継がれたバトンを絶やさず継続し、私たちが愛したソフトテニスの発展のため、上越の子供達の



成長のために努力して参ります。

そして、いつか全国大会で活躍できる選手を育てていきたいと思っております。

新潟県ソフトテニス連盟の推薦理由

上越市内の小学生を対象として、長年にわたりソフトテニスの普及活動を実施しています。ジュニア世代がソフトテニスにふれあう機会をつくり、卒業後のカテゴリーでは全中、インターハイ、インカレに出場する選手も出しています。

また、親子でプレーをする好循環が続いており、生涯スポーツの場として地域に根付いています。

令和6年度

支部功労者・優良団体

紹介

Vol.10

富山県

支部功労者 河村 浩志 氏

〈受賞の感想〉

この度、支部功労者という栄誉を賜り、大変光栄に思います。

富山県ソフトテニス連盟の役員として、また、YKKソフトテニス部の部長として、地域全体のソフトテニス振興に尽力してまいりましたが、関係各位のお力添えがあってこそその活動であり、深く感謝申し上げます。

現在は、自らもシニア選手として大会に参加する傍ら、講習会・大会等の企画や運営を行っておりますが、ジュニアや若手、また、シニアプレーヤーの活躍を見て、活力をいただいています。

〈今後の抱負〉

今後も多くの仲間達と末永くプレーできるように健康管理に気をつけ、楽しんでいきたいと思えます。

また、これまで行ってきた活動を継続・発展させて、地域のソフトテニスの活性化、さらには、ソフトテニス界の発展のために、微力ながら尽力してまいりたいと思えます。



富山県ソフトテニス連盟の推薦理由

永年にわたり、富山県ソフトテニス連盟 理事・常任理事として、富山県支部の発展・運営に対して多大なる貢献を果たすとともに、YKKソフトテニス部部長として実業団選手の育成・強化に努めるなど、その貢献は大であり、ここに令和6年度「支部功労者」として推薦します。

支部功労者 津里 斉 氏

〈受賞の感想〉

このたび、支部功労者をいただき身に余る思いです。

中学1年の時にソフトテニスに出会い、高校、社会人と50年余りにわたり携わって来ました。40歳から高校の指導が中心となり、様々な県外の高校との練習試合、北信越大会、インターハイ出場と、これらが自分自身の大きな励みとなっています。

現在、教え子達を中心に高校、大学を卒業したメンバーの受け皿としてうちの社会人クラブがあり、今部員数が70名を超えています。

思えば一年一年ただコツコツとやって来た事が良い結果になったものと自負しております。

最後に支部功労者ありがとうございました。

〈今後の抱負〉

毎年ソフトテニスを通じて県内外での試合、社会人クラブへの入会者や高校での新入部員達との出会い、そして、練習や試合などでいろいろな景色を見る事ができます。

よく学生と社会人クラブの合同練習をやる中で多くの人に出会える事が魅力であり、それぞれが少しでも技術の習得が出来ればと思っています。

人との出会いと努力、そして、少しの運が大きく人生に影響を与えるものと思っています。

今後も体力と気力が続く限り、気骨稜稜の気持ちで少しでも富山県のソフトテニス発展のために微力ながら頑張る所存です。



富山県ソフトテニス連盟の推薦理由

永年にわたり、富山県ソフトテニス連盟理事として、富山県支部の発展・運営に対して多大なる貢献を果たすとともに、富山ソフトテニスクラブ理事長としてクラブ選手の育成・強化に努めるなど、その貢献は大であり、よって、ここに令和6年度「支部功労者」として推薦します。

優良団体 不二越 (フジヨシ)

〈受賞の感想〉

この度は、(公財)日本ソフトテニス連盟の優良団体表彰をいただき、富山県ソフトテニス連盟をはじめ関係者の皆様に深くお礼申し上げます。

昭和28年頃から本格的に活動を開始して以来、こうして表彰していただけることは励みになると同時に、受賞に恥じない活動を続けていきたいと思えます。

〈今後の抱負〉

諸先輩方が活動されてこられたことを継承して、家族や職場のご理解をいただきながら 全日本実業団選手権大会、STリーグⅡでは、上位の成績を目指していきたいと思えます。



富山県ソフトテニス連盟の推薦理由

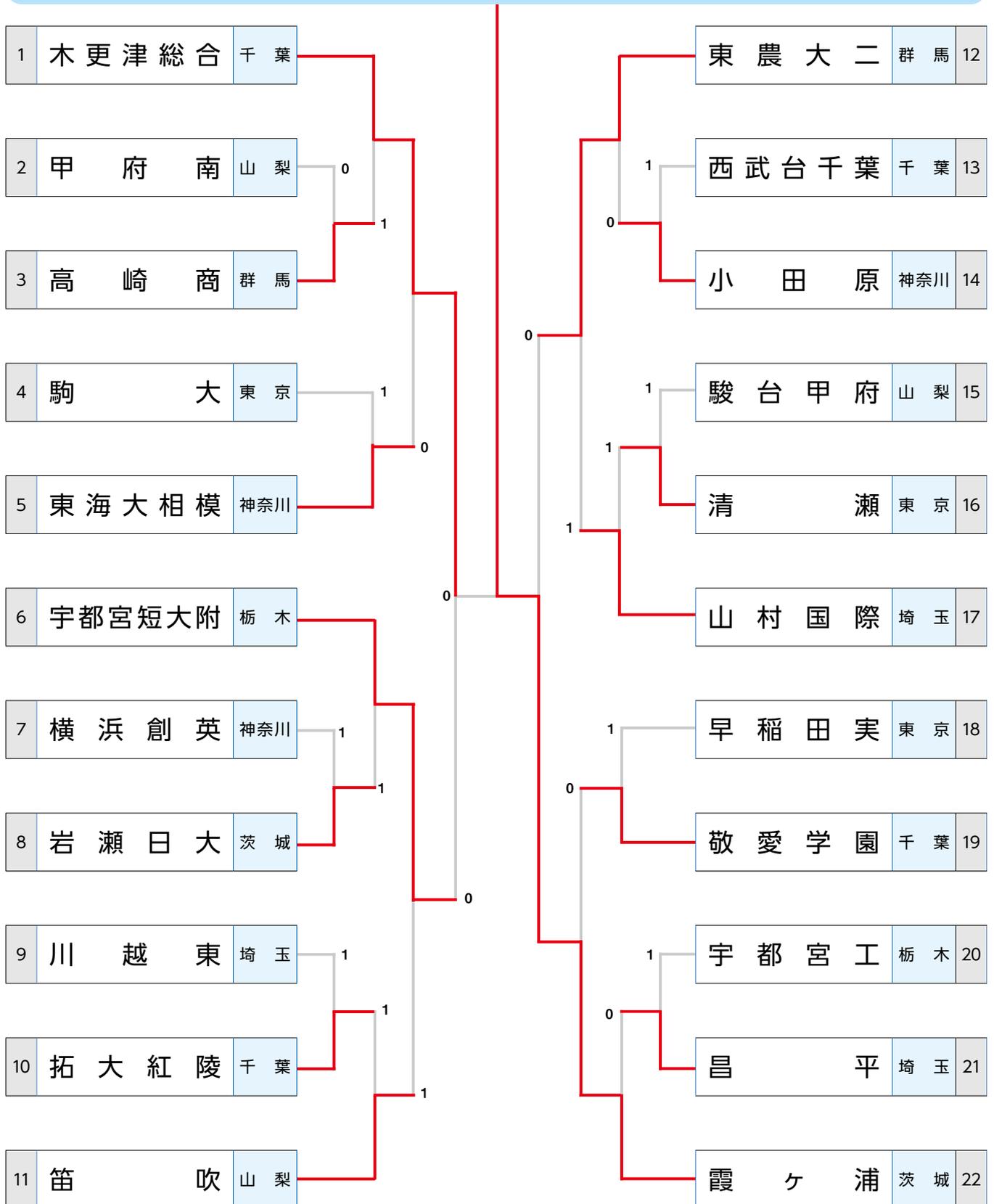
永年にわたり、実業団チームとして、各種大会へ出場し素晴らしい成績を収めていることはもちろんのこと、県内の中学生や高校生への指導及び各種大会等の競技役員として運営に携わるなど、富山県ソフトテニスの発展と競技力の向上に貢献しています。よって、ここに令和6年度「優良団体」として推薦します。

第66回 関東高等学校ソフトテニス大会

■5月31日・6月1日 山梨県・甲府市 小瀬スポーツ公園

関東ソフトテニス連盟

男子団体戦



男子団体戦決勝

霞ヶ浦 ②-0 木更津総合

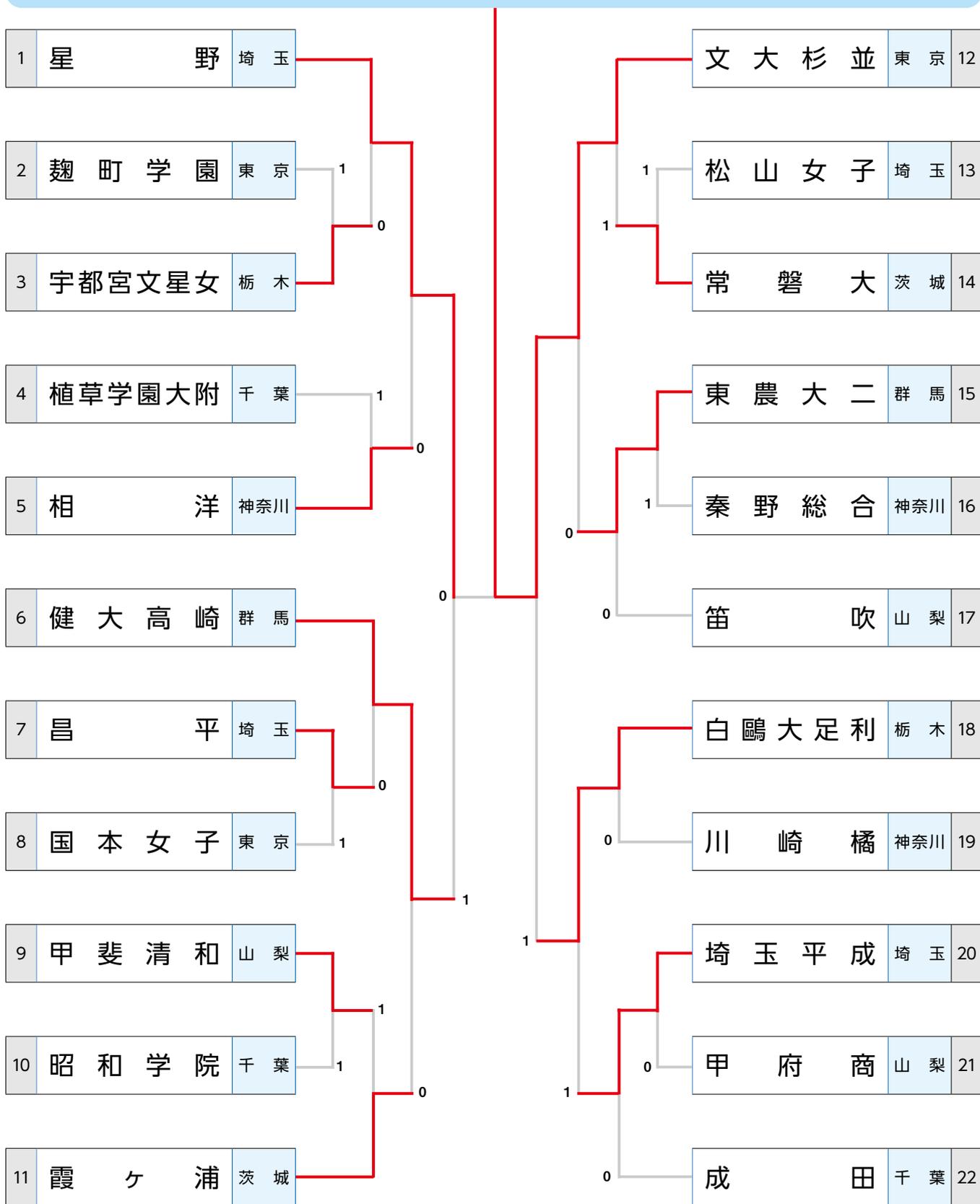
長谷川博人・高嶋 雅弥 ④-3 手塚 康介・竹之内琉太
 善福 留生・白川 隼平 ④-2 藤原 伸樹・中原 一翔
 吉井 翼・堀 ひかる - 舘田 陸斗・嵯峨 悠平

女子団体戦決勝

文大杉並 ②-0 星野

佐久間結愛・富永 紗妃 1-1 高杉 萌那・森 菜々花
 柳川 凜・吉良 璃音 ④-1 猪野ちひろ・中島 琉花
 後藤 千尋・泉屋 咲穂 ④-0 野口 花梨・石田 真子

女子団体戦



男子団体戦 優勝～第3位

優勝



霞ヶ浦

準優勝



木更津総合

第3位



東農大二

第3位



宇都宮短大附

女子団体戦 優勝～第3位

優勝



文大杉並

準優勝



星野

第3位



白鷗大足利

第3位



健大高崎

男子個人戦 優勝～第3位

優勝



原田 興勇・神藏 悠月
(神奈川、東海大相模)

準優勝



高橋 快・原田 裕太
(千葉、木更津総合)

第3位



善福 留生・白川 隼平
(茨城、霞ヶ浦)

第3位



手塚 康介・竹之内 琉太
(千葉、木更津総合)

女子個人戦 優勝～第3位

優勝



柳川 凜・富永 紗紀
(東京、文大杉並)

準優勝



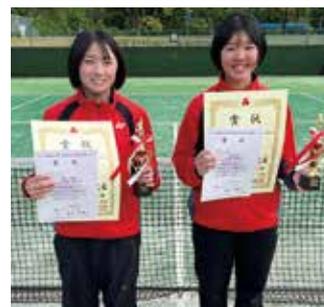
螺良 寧々・西牧 結愛
(栃木、白鷗大足利)

第3位



飯島 陽菜乃・中島 歩
(神奈川、相洋)

第3位



西條 友依子・高橋 悠
(埼玉、埼玉平成)

理事会・専門委員会報告

7月1日(火)

プログラム編成部会

7月3日(木)

運営本部会議 (リモート)
機関紙部会 (リモート)

7月8日(火)

審判委員会 (リモート)

7月10日(木)

登録人口問題対策委員会

7月17日(木)

運営本部会議 (リモート)

7月24日(木)

理事会

合宿報告

8月2日(土)~10日(日)

日本代表合宿 (北海道北広島市)

※この情報は6月30日現在のもので、
7月以降は変更になる場合があります。



LUCENT

値下げキャンペーン

期間限定 2025年4月1日~2025年9月30日



アカエムボール 公認球
(ホワイト・イエロー・ピーチレッド)

メーカー希望小売価格

1ダース
~~5,400円~~ (税込5,940円) → **4,680円** (税込5,143円)

アカエムプラクティス
(ホワイト・イエロー・ピーチレッド)

メーカー希望小売価格

1ダース
~~4,560円~~ (税込5,016円) → **3,840円** (税込4,224円)

メーカー希望小売価格は参考価格です。
実際の販売価格は販売店にご確認ください。

ソフトテニスユーザー応援!

物価高が続くこんな時だからこそ、ボールを気軽に手にして、ソフトテニスをもっと楽しんでください。

株式会社ルーセント

■本社:千葉県柏市十余二348 TEL:04-7131-0187 FAX:04-7131-9262
■大阪:06-6854-2001 ■名古屋:052-856-0187

<https://lucent-sports.com/>

すべての スポーツに エールを

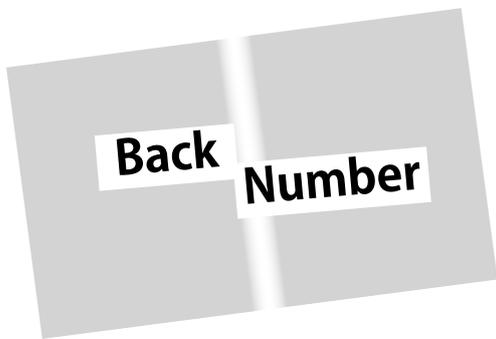
スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。



くじを買うはエールになる

スポーツくじ





Back Number

2024年7月号

【表紙写真】

昨年6月中旬に奈良県の高市郡明日香村で開催された「第5回 全日本ミックスダブルスソフトテニス選手権大会」。写真は初優勝を飾った前田・上松ペアのプレー写真(写真提供:ベースボール・マガジン社)

【本誌内容】

第5回 全日本ミックスダブルスソフトテニス選手権大会/ナショナルチーム強化合宿 報告/全日本アンダー20女子強化合宿 報告/令和6年 世界選手権大会日本代表候補合宿 報告/第2回 ソフトテニスの新時代に向けて/第6回 ソフトテニストレーナー研修会 報告/支部功労者優良団体紹介 静岡県/地区大会・地方大会/支部ニュース/Soft Tennis Information 情報コーナー/理事会・専門委員会報告/次号予告/2024年度(令和6年度)大会日程及び開催地一覧



Soft Tennis

[ソフトテニス]

8 月号

次号予告

HPは www.jsta.or.jp

メールアドレスは info@jsta.or.jp

定時評議員会報告

2025仁川コリアカップ国際ソフトテニス大会

次号は、(公財)日本ソフトテニス連盟の定時評議員会報告を中心に、「2025仁川コリアカップ国際ソフトテニス大会」や「西日本シニア選手権大会」、「第79回 西日本選手権大会」、「第80回 東日本選手権大会」を掲載する予定です。お楽しみに!

広告募集中!

毎月30~80万のアクセスがあるホームページです

日本ソフトテニス連盟ホームページ内 機関誌「ソフトテニス」に 広告を掲載してみませんか?

お問い合わせはこちらまで: kikanshi@jsta.or.jp

2025年7月10日発行

ソフトテニス 第854号(2025年7月号)

発行人 安道 光二

発行所 (公財)日本ソフトテニス連盟

〒140-0014 東京都品川区大井1-16-2-201

電話 03-6417-1654 FAX 03-6417-1664

編集 澄田公哉事務所

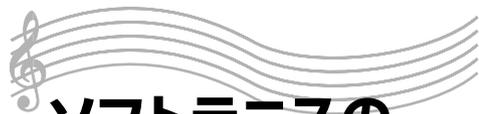
デザイン 明宏デザイン



2025年度(令和7年度) 大会日程及び開催地一覧

2025.6.30 現在

	大会名	日程	開催地
主催大会	第9回 アジア選手権大会日本代表予選会	2025年4月26日 土 ~ 2025年4月27日 日	宮城県 仙台市
	第32回 全日本シングルス選手権	2025年5月17日 土 ~ 2025年5月18日 日	宮崎県 宮崎市
	第6回 全日本ミックスダブルス選手権大会	2025年6月14日 土 ~ 2025年6月15日 日	広島県 広島市、安芸郡福山市
	男子70回 女子69回 全日本実業団選手権大会	2025年7月25日 金 ~ 2025年7月27日 日	青森県 青森市
	第42回 全日本小学生選手権大会	2025年7月31日 木 ~ 2025年8月3日 日	茨城県 神栖市
	第53回 全日本社会人選手権大会	2025年8月30日 土 ~ 2025年8月31日 日	北海道 苫小牧市、室蘭市 札幌市
	全日本中学生クラブ選手権ブレ大会	2025年9月13日 土 ~ 2025年9月15日 月	千葉県 白子町
	第29回 全日本シニア選手権大会	2025年9月20日 土 ~ 2025年9月21日 日	兵庫県 神戸市 京都府 福知山市、舞鶴市
	第32回 ジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニア選手権大会	2025年10月18日 土 ~ 2025年10月19日 日	広島県 広島市
	第3回 STリーグ II	2025年10月24日 金 ~ 2025年10月26日 日	京都府 福知山市
	第32回 全日本クラブ選手権大会	2025年10月25日 土 ~ 2025年10月26日 日	千葉県 白子町
	第80回 天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会	2025年11月6日 木 ~ 2025年11月8日 土	東京都 江東区
	第3回 STリーグ	2025年12月11日 木 ~ 2025年12月14日 日	栃木県 宇都宮市
	STリーグ プレーオフ	2025年12月19日 金 ~ 2025年12月21日 日	広島県 福山市
	第71回 全日本インドア選手権大会	2026年2月8日 日	大阪府 大阪市
共催大会	第54回 ハイスクールジャパンカップ	2025年6月18日 水 ~ 2025年6月22日 日	北海道 札幌市
	西日本シニア選手権大会	2025年7月5日 土 ~ 2025年7月6日 日	和歌山県 和歌山市、白浜町
	第79回 西日本選手権大会	2025年7月12日 土 ~ 2025年7月13日 日	奈良県 明日香村 京都府 宇治市
	第80回 東日本選手権大会	2025年7月19日 土 ~ 2025年7月20日 日	富山県
	全日本高校選手権大会(男子)	2025年7月24日 木 ~ 2025年7月27日 日	山口県 宇部市
	全日本高校選手権大会(女子)	2025年7月28日 月 ~ 2025年7月31日 木	
	第52回 全日本レディース大会(個人戦)	2025年7月26日 土 ~ 2025年7月27日 日	三重県 四日市市 鈴鹿市 他
	第56回 全国中学校大会	2025年8月19日 火 ~ 2025年8月21日 木	熊本県 熊本市
	第47回 全日本レディース決勝大会(団体戦)	2025年8月30日 土 ~ 2025年8月31日 日	福島県 会津若松市
	2025 全日本学生選手権大会	2025年8月29日 金 ~ 2025年9月3日 水	千葉県 千葉市
	第79回 国民スポーツ大会	2025年10月3日 金 ~ 2025年10月6日 月	滋賀県 長浜市
	日本スポーツマスターズ 2025	2025年9月20日 土 ~ 2025年9月21日 日	愛媛県 今治市
	第5回 全日本レディース決勝大会(シニアの部)	2025年10月16日 木 ~ 2025年10月17日 金	大阪府 大阪市
	第20回 ジュニアジャパンカップ (競技者育成プログラムStep4)	2025年11月21日 金 ~ 2025年11月24日 月	宮崎県 宮崎市
	第6回 平和カップひろしま国際大会	2026年3月14日 土 ~ 2026年3月15日 日	広島県 広島市
	第37回 都道府県対抗全日本中学生大会	2026年3月26日 木 ~ 2026年3月28日 土	三重県 伊勢市
	第51回 全日本高校選抜大会	2026年3月28日 土 ~ 2026年3月30日 月	愛知県 名古屋市
拠点	第25回 全国小学生大会	2026年3月29日 日 ~ 2026年3月31日 火	千葉県 白子町
その他	第37回 ねんりんピック 2025	2025年10月18日 土 ~ 2025年10月20日 月	岐阜県 瑞穂市 大垣市
	第33回 日・韓・中ジュニア交流競技大会	2025年8月23日 土 ~ 2025年8月29日 金	中国 内モンゴル自治区
	第9回 アジア選手権大会	2025年9月13日 土 ~ 2025年9月23日 火	韓国 聞慶市



ソフトテニスの テーマソング

Winning Shot ～ウイニング ショット～ を広めよう！

ソフトテニス創始 120周年および連盟創立 80周年となつた2004年、「ソフトテニスの歌」が発表され、CD化も実現しました。タイトルは「Winning Shot～ウイニングショット～」。全国各地の大会会場で聴きたい、爽やかで希望に満ちた歌です。

作詞・作曲者／Twune 編曲／audio-Librar

青い空に向けて 白いボールがはずんで 光の中で
いつもどんな時も テニスコートに立つかぎり 胸が踊るよ

きのうのどことなくやささも 今日戦う勇気に変えよう……！

Ah 勝利をつかむまで
あきらめたくない For My Dream！
さあ！ 風を切って走れ
打ち返すんだ ウイニングショット！

うまくいなくても 前を向いた心なら 悔まないのさ
きつと強くなって 振り抜くラケットに 熱い願いを込めろ

光る汗を流し続けて 明日の夢の扉開け……！

Ah いつも心に太陽
ゆずりたくはない For My Heart！
さあ！ 信じるまま進め
希望に満ちた ウイニングショット！

Ah 翼をひろげよう
世界に羽ばたけ Soft Tennis！
Ah 今ここにある夢
未来を行け！ ウイニングショット！

著作／財日本ソフトテニス連盟 製作／しゅくみねっと株式会社



Vocals Winning Shot

～ウイニング ショット～

作詞・作曲／Twune
編曲／audio-Library

♩ = 144

Intro

[A] 1. あおい そらに むけて も しろ い ボール が は ず ンで る ら
2. うま く い か な く て も ま え を む い た こ こ ろ な ら

ひ か り の な い の ま
く や な い の ま

い つ も ど ん な と き も テ ニ ス コー ト に た つ か ぎ り
き ま っ と つ よ く な っ て ふ り ぬ く ラ ケ ッ ト に た つ か ぎ り

む ね が お ど る よ
ね が い を こ め る

二 の う の ど ん な く や し さ も
か る あ せ を な が し つ げ

き ょ う た た か う ゆ う き に か え る う...!
あ す の ゆ め と び ら ひ

Ah し ょ う り を つ か む ま だ
Ah い つ も こ こ ろ に た い じ ょ う

あ き ら め た く は な い For My Dream!
ゆ ず り た く は な い For My Heart!

さ あ！ か ぜ を き っ て は し れ
さ あ！ し ん じ る ま ま ず れ

う ち か え ず ん だ ウ イ ニ ン グ シ ョ ッ ト!
き ほ う に み ち た ウ イ ニ ン グ シ ョ ッ ト!

せ かい に は ば た け Soft Ten nis!

Ah い ま こ こ に あ る ゆ め

み ら い を け っ て! ウ イ ニ ン グ シ ョ ッ ト!

Ending

10

環境を守る スポーツを守る 未来を守る

TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに!



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee